

1章 各標準テストの概要

本章では、文献調査及びオーストラリア、米国のテスト開発機関へのヒアリングに基づき、各国の代表的標準テストの概要について整理する。

1. Graduate Skills Assessment (GSA)

(1) アセスメント開発機関

1) 名称

オーストラリア教育研究カOUNシル：The Australian Council for Educational Research (ACER)

2) 所在地

19 Prospect Hill Rd, Camberwell, VIC, Australia 3124

3) 歴史

1930年設立。

4) 概要

ACERは政府から独立した非営利団体。CEOであるGeoff Masters教授を筆頭に役員10名で構成されるボードにより運営がなされている。現在約250名のスタッフが働く(ヒアリング)。本部のキャンバーウェル以外にもオーストラリアには、シドニー、パース、ブリスベンなどにブランチがあり、またドバイ(アラブ首長国連邦)とインドにも事務所がある。個人と社会の幸福実現のためには生涯学習が重要であると考え、ACERのミッションは、「学びの質を向上させるために使える知識とツールを生み出し、向上させること」である。

5) 活動内容

ACERの研究・開発領域は主に次の7分野である。

① アセスメントとアセスメント報告

アセスメント手法、アセスメントツール、アセスメント目的とアセスメント報告の受け手の側に立ったより効果的な報告方法、等に関する研究開発を実施

② 学習過程

教育現場や教育現場以外で、学習者や学習行動にたいする効果的なサポート方法の研究開発を行う。学習過程の解明、また学習者の発達度測定に対する理解を促進する。

③ 国内・国際レベルでの学力調査

ACERは、サンプリング、サーベイ管理運営、データ分析、分析結果の解析と報告、といった

領域において多数の蓄積がある。こうした実績を背景に、ACER は OECD に代わり、研究・教育機関が参加するコンソーシアムを統括する役割を担う。PISA における標本設計や調査の全体運営を国外でも、国内でも行う。また、IEA と OECD の行うテストのコーディネータや報告書作成などにも貢献している。

④ 政策分析・プログラム評価

ACER の 75 年に及ぶ研究・開発をもとに近年新たに設置した。

⑤ システムワイドテスト

教育システム全体の達成度測定の視点に立ったテストと学校レベル達成度測定の視点に立ったテストの開発、結果分析と報告、コンサルティング、トレーニングを実施する。

⑥ 教育とリーダーシップ

教育専門家としての教師の水準向上が注目されており、目覚ましい効果を上げた教師の成功事例収集、あるいは質の高い教授法と教師の質を左右する要因や、測定基準の役割と可能性、教師の質向上と生徒の学習との関係、などについて研究している。

⑦ 教育と社会生活・経済生活に関する移行

15 歳から 20 代半ばを対象に、初・中等学校から大学あるいは職業教育・トレーニングへの移行および教育と職業との移行について研究している。

ACER は国際展開を積極的に進めている。2001 年には、ACER International Institute を設立。あるいは、フィジー、マレーシア、インドネシア、フィリピン、香港、カンボジア、ブータン、スリランカ、シンガポールなどからの派遣者に対して教育測定と評価に関するトレーニングプログラムを実施してきた。PISA での活動以外にも、ブータンの試験評議会、チリでのアセスメント基準開発、インドネシアのカリキュラム評価、等のプロジェクトなどに協力している。

ACER が提供するテストに関連するサービスは、次のように 9 つに分類できる。

1. スカラシッププログラム（優等学生測定）
2. 学校（初・中等）教育関連
3. オンライン
4. 大学関連
5. 職業教育・トレーニング関連
6. 人的資源関連
7. 心理テスト関連
8. テストスコアリング関連
9. コンサルティング

スカラシッププログラムでは、学校教育の入学時や各学年で、最も高い到達度・能力を有する学生を判定するためのテストの提供と、その結果の分析・報告を行う。スカラシッププログラムに含まれるテストは ACEP (Australian Cooperative Entry Program)、CSTP (Cooperative Scholarship Testing Program)、PSP (Primary Scholarship Program)、SST (Scholarship Selection Test) である。学校教

育関連のテストでは、入学を含むあらゆる段階に対応するテストが 20 近く用意され、各機関がそれぞれの目的に応じて利用できる仕組みとなっている。

大学関連のものでは、大学や専門コースの選択を目的としたテスト、一般教育での理解・到達度を測定するテスト、そして学生の学習プロセスや結果、教育の質向上を測定するサーベイなどを提供している。含まれるテストは、ALSET (Australian Law Schools Entrance Test)、ATNEST (Australian Technology Network Engineering Selection Test)、AUSSE (Australasian Survey of Student Engagement)、Business Select、GSA (Graduate Skills Assessment)、ISAT (International Student Admissions Test)、STAT (Special Tertiary Admissions Test)、TEMT (Tertiary Education Mathematics Test)、TWA (Tertiary Writing Assessment)、UNiselect、uniTEST (Student Selection Test for Universities)などや、メディカルスクールへの入学試験が用意されている。

6) その他の特色

今回調査対象となった GSA のみならず、アセスメント作成について幅広い実績を持つ機関である。顧客のニーズに応じてビクトリア州の高校修了試験 (GAT : the Victorian General Achievement Test)、医学部入試 (UMAT : Undergraduate Medicine and Health Sciences Admission Test) などのハイ・ステークス・テストも開発・提供している。

また、テスト開発から実施、管理、分析、フィードバックまですべてのサービスを一貫して提供している。

(2) アセスメントの概要

1) 名称

Graduate Skills Assessment (GSA)

2) 概要

ジェネリックスキル (一般能力) を測定するテストである。1999 年にオーストラリア政府から委託され、ACER が開発。大学入学時と卒業時に実施。written communication (以下、文章力)、critical thinking (以下、批判的思考力)、problem solving (以下、問題解決力)、interpersonal understandings (以下、相互理解力) の 4 要素を選択式試験 (所要時間 2 時間) と筆記試験 (同 1 時間) によって測る。上記 4 つの能力は多くの大学において重要であり、かつ、大学卒業生が身につけているべき能力であると述べられている。

表1-1-2① GSAの出題形式

出題形式	所要時間	測定されるスキル
多枝選択式	2時間	批判的思考力 問題解決力 相互理解力
記述式	1時間 (議論のパート、 報告のパート)	文章力

3) 対象者

受検者は大学生（入学生、卒業生など）が主たる対象であり、結果の活用は大学および企業を想定して開発された。

4) 受検料

企業向け案内に掲載されていた受検料は下記の通りである。ただし、大学向けには政府の補助金の存在により、この料金よりも低いと推測される。

【多枝選択式（批判的思考力、問題解決力、相互理解力）】

3分野 80 豪ドル、2分野 66 豪ドル、1分野 55 豪ドル

【記述式（文章力：報告、議論）】

2タスク 50 豪ドル、1タスク 40 豪ドル

上記のほか、基本料金は 140 豪ドルである。

マードック大学のヒアリングでは開発当初は 1 名につき 10 豪ドル、20 豪ドル程度であったのが、2007 年から 70 豪ドルになるとの通知が来たため大学における実施が中止となったという。

5) 特徴

- ・概要にもあるように、大学入学時と卒業時におけるジェネリックスキルを測定する。ジェネリックスキルの発達について GSA は、「効果的な学習者とは、新たに経験するコンテキストと既習事項との関連を素早く発見し、かつ既習事項をその新しいコンテキストに容易に適用できる学習者」という概念を前提としている。GSA の妥当性研究 (ACER 2002) において、GSA スコアに影響のある変数は、専攻分野、学年、母語、性別、年齢などであることが示された。

- ・ジェネリックスキルといわれるもののなかでも、相互理解力のテストを有することは GSA の特徴の 1 つといえる。

・大学生を対象としたテストについては、大学単位で申し込む。当該大学の学生が受検するかどうかは個人の任意である。企業の人事向けのホームページには、採用のために GSA を使用することができるという案内がある。採用担当者が4つの分野から測定する分野を選択することが可能になっている。大学生の受検についても分野の選択ができるかどうかは不明である。

6) 評価方法・内容

批判的思考力のパートでは、提示された主張や短文とその視点を批判的に考察する能力が試される。これらの主張や短文とその視点を咀嚼し、かつ評価するために、出題文章を理解し、分析し、そして分析したものを統合する能力が測定される。

問題解決力のパートでは、与えられた情報を分析し、その分析に基づいた意思決定や問題解決をする能力を測定することを目的としており、分析力・論理的思考力・数量的理解力を活用することが求められる。

相互理解力のパートは、効果的なフィードバックやチームワークに必要とされる、人間の感情、モチベーション、他者の行動、などを理解・推察できる能力を測定することを目的としている。相互理解力のパートにおいても文章問題が大半を占めているが、いくつかビジュアル形式の問題も含んでいる。

文章力のパートは「議論」と「報告」の2つからなり、効果的な文章を構成する能力を測ることを目的としている。議論のパートでは、出題された論点に対して、自分なりの視点を構築し、その視点を明確で筋の通った論理的な議論によってサポートすることが試される。また、報告のパートでは、提示された事実・数値・写真や絵を理解し、取捨選択し、組織化した上で、明快な要約を作成する能力が試される (Coates 2008)。

7) 評価目的・用途

ACER によれば、主として以下の5つの情報と、その情報に基づく活用が考えられるという。

1. 大学入学者のジェネリックスキルレベル
2. 一般化された評価基準に基づくデータ
3. グループ単位での付加価値測定
4. 個人単位のジェネリックスキルの向上
5. 個人のジェネリックスキルに関する証明とコースプログラムの改革・向上

大学入学者の GSA 受検によって、入学者のジェネリックスキルを把握することにより、補習などの支援を必要とするスキルレベルの低い学生を特定できる (Coates 2008)。

また、GSA は、特定の学問分野の知識の測定に特化したテストではなく、より一般的なジェネリックスキルの測定を目的としているので、入学者から学部横断的にサンプルを抽出して GSA を受検させることが可能な場合、学部内における、あるいは学部間におけるスキルレベルの相違を観察できる (Coates 2008)。

あるいは、同じサンプルの GSA スコアを入学時と卒業時で比較すれば、大学教育がジェネリックスキルの獲得に関してどの程度有益であったのかをグループ単位で検討することができる

(Coates 2008)。

加えて、個別学生に関するデータも報告されるので、個々の受検者のジェネリックスキルの向上度合いを分析することが可能である。ジェネリックスキルは、Course Experience Questionnaire (CEQ)¹における中心的な評価基準となっており、かつGSAには複数の大学機関が参加していて機関横断的な比較が可能であるので、個別機関は、GSAスコアを、機関の提供するコースの改革やレベル向上のために活用できるだろう (Coates 2008)。

さらに大学院課程への進学の一基準とすることや、雇用主に対するジェネリックスキルの証明として使用する可能性も考えられる (ACER の HP)。

以上は、GSA の開発機関である ACER が開発当初から主張している用途である。実態はこれらの用途と乖離をしているようだ (1部3章参照)。

なお、オーストラリアにおける活用例としては、マードック大学および CPA オーストラリアに対してヒアリング調査を行っている (1部3章参照)。

8) 開発プロセス

90年代のオーストラリアでは、産業界を中心に、現代の経済環境に的確に対応できるような労働力確保が強く求められ、ジェネリックスキルに対する関心が高まっていた (1部1章参照)。こうした背景をうけ、1999年12月、ケンブ教育訓練大臣 (当時) が GSA の開発や試行調査の予定を発表した (Kemp 1999)。Department of Education, Science and Training (DEST、教育科学訓練省) は ACER にジェネリックテストの開発を委託、そして ACER は 1999年に GSA を開発し、2000年に第1回の GSA が実施された。開発はオーストラリア政府の資金によるものと考えられる。

開発のプロセスにおいて ACER は、各州の州都およびキャンベラで大学関係者 (雇用者を含む) を集めてミーティングを開催し、彼らが価値ありと判断したスキル、評価・測定したいスキルについて意見をきいた。このなかでもっとも言及されることが多かったものは、コミュニケーション・ライティング、問題解決力・応用推理力、相互理解力・チームワーク、批判的思考力、倫理・市民性・社会的責任、生涯学習能力、IT スキルであった。このうち、定義可能なスキルであるか、信頼性が確保できるか、など、一定の基準にかなった4つの分野 (問題解決力、批判的思考力、相互理解力、文章力) の開発を決定した。4分野のみの測定であることに関して、ジェネリックスキルの一部のみしか測定できていないという批判もある。現状はこのようであるが、今後、他分野における開発も考えられる。

9) 普及状況

GSA Exit 2000 (卒業)、及び GSA Entry 2001 (入学) に、合計 27 大学 (重複は除く)、約 3,700 人の学生が参加し、2005 年末までには、約 8,000 名が受検した。オーストラリア政府は企業による GSA 活用を推進する目的で、ACER に対して 2005 年から年\$270,000 の補助金を提供している (DEEWR 2004)。

¹ Course Experience Questionnaire (CEQ) は、大学を卒業して間もない学生に対して帰属していたコースに対する意見の調査を目的としており、The National Australian Graduate Survey に含まれている。

マードック大学におけるヒアリングによれば、マードック大学の GSA 受検者数の推移は表1-1-2②のとおりだという。マードック大学では受検料の値上がりを機に、2007年以降の実施を中止した。オーストラリア全体を見ても、開始以降年々減少の傾向にあり、最新の情報によれば2007年の1学期の受検は2大学228名にとどまったという（Australian Government 2008）。広く普及しているとはいえない現状のようである。

表1-1-2② マードック大学およびオーストラリア全体の GSA 受検者数の推移

	マードック大学 (人)	オーストラリア 全体 (人)	マードック大学 の占める比率 (%)	大学数 (大学)
Exit 2000	92	1597	5.8	19
Entry 2001	173	2061	8.4	20
Exit 2001	132	698	18.9	8
Entry 2002	70	943	7.4	11
Exit 2002	183	500	36.6	9
2003	121	512	23.6	4
2004	210	-	-	-
2005	91	-	-	-
2006	79	-	-	-
Total	1151	-	-	-

10) 大学卒業要件との関連

GSA を卒業要件としている大学は存在しないようだ。実施大学においても、GSA の受検は義務付けられているのではなく、あくまで学生個人の任意となっている。

11) その他

・ACER は近年、GSA のために開発した各分野のアセスメントを独立させたかたちでのサービス提供も行っている（例：「Seeking Problem Solvers?」「Seeking Critical Thinkers?」など。この2つは人事向けのサービス）。ヒアリング調査時に訪問したウロンゴン大学の法学部では「Seeking Problem Solvers?」を導入予定と話していた。

・GSAの妥当性（測定しようとするものを実際に測定しているか否か）については、ACERによって統計学的に裏づけが報告されている。また、GSA、TER²、およびGPA（大学での成績）に関して、ほとんどの大学機関において統計的に有意な正の相関が報告されており、特にGSAとGPAの相関が強い。こうした結果は、大学での学業面での成功におけるジェネリックスキル習得の重要

² TER とは、Tertiary Entrance の略。TER は、西オーストラリア地域の高校生が受検するテストであり、テスト結果は大学入学における判断材料の一つとなる。

性を示していると言える (Coates 2008)。

・GSAの結果については、次のような傾向がみられる。1年生と3年生では、3年生の成績がよい。相互理解力のスコアは女性の方が男性より高い傾向があるのに対し、問題解決力は男性のスコアの方が高い。問題解決力のスコアは、年齢の若い人の方が年配者より高い。逆に、相互理解力は年配者の方がスコアが高い。(ヒアリング)

(3) アセスメントの問題例 : 和訳と英文

試験名	GSA 批判的思考力
形式	多枝選択式
サンプル	<p>●以下に示す主張は、次の問いに関するものである</p> <p>主張：政府の介入や規制が少ない方が社会にとって有益である</p> <p>【問題】 前述の主張と問題中の発言の関係を最も確に説明している選択肢をA～Eの中から選びなさい。</p> <p>発言：未来は、大いなるチャンスと試練を社会に与える</p> <p>主張との関連で、その発言は</p> <p>A. 十分な支持を与える</p> <p>B. 十分な反対の論拠として利用できる</p> <p>C. 同じ内容の単なる繰り返しか、または不十分な論拠しか与えない</p> <p>D. 単に矛盾しているだけか、または不十分な反対の論拠しか与えない</p> <p>E. 無意味であって、賛成あるいは反対のどちらの論拠ともなりえない</p>

試験名	GSA 相互理解力
形式	多枝選択式
サンプル	<p>●採用面接官が、応募者に対して以下のような質問をした</p> <p>「あなたの指示に従いたくない人と、あなたが同じチームで仕事をしている場合、あなたはどのように説得しますか？」</p> <p>【問題】 以下は、応募者の答えの選択肢である。A～Eのどの選択肢が応募者がチームで仕事をする能力を最も強く示しているか。</p> <p>A. 自分ひとりで仕事をする。少なくともそうすることで、仕事が適切になされることを知っているから。</p> <p>B. 指示に従いたくない人に対して、やるべき仕事に関してより経験を積んでいることを強く明確にする。</p> <p>C. 指示に従いたくない人の意見や考えをより理解しようと努め、そのことに関して彼・彼女と話し合う</p> <p>D. 指示に従いたくない人の誤りを明らかにするために、彼・彼女の意見を採用する</p> <p>E. チームにおいては、ギブ&テイクが基本であり、今回は彼・彼女が自分の意見を従う時であることを指摘する</p>

Australian Council for Education (2003). Graduate Skills Assessment Sample Questions
 <http://www.acer.edu.au/documents/GSA_SampleQuestions.pdf> [2008, Dec 22]

【参考文献】

- Australian Council for Education (2002). Graduate Skills Assessment Stage One Validity Study <http://www.acer.edu.au/documents/GSA_ValidityStudy.pdf> [2008, Dec 22]
- Australian Council for Education (2003). Graduate Skills Assessment Sample Questions <http://www.acer.edu.au/documents/GSA_SampleQuestions.pdf> [2008, Dec 22]
- Australian Council for Education (2008). <<http://www.acer.edu.au/index.html>> [2008, Dec 22]
- DEEWR (2004). Our Universities: Backing Australia's Future < http://www.backingaustraliasfuture.gov.au/fact_sheets/14.htm#c > [2008, Dec 22]
- Kemp, D (1999). Quality Assured: A new Australian quality assurance framework for university education < <http://www.dest.gov.au/archive/ministers/kemp/dec99/ks101299.htm> > [2008, Dec 22]
- Australian Council for Educational Research: Graduate Skills Assessment (GSA)*. In Coates, H's presentation at the University of Tokyo in February 1, 2008
- Deirdre Jackson (2006), 「ACERの最近の研究およびPIISAでの役割」 < http://www.p.u-tokyo.ac.jp/sokutei/pdf/2005_02/p111-134.pdf> [2008, Dec 22]

2. The Collegiate Learning Assessment (CLA)

(1) アセスメント開発機関

1) 名称

教育支援カウンシル：Council for Aid to Education (CAE)

2) 所在地

215 Lexington Avenue, 21st Floor, New York

NY 10016-6023 USA

3) 歴史

高等教育への協同支援と高等教育政策の改善を目的に 1952 年に設立。1996～2005 年まではシンクタンクの RAND 社の系列であったが、その後、独立した非営利団体となった。

4) 概要

実施機関である CAE はニューヨークに事務所をもつ非営利団体。GM や Exxon Corporation、United States Steel Corporation といったアメリカの経済界の主要リーダーにより、高等教育への協同支援と高等教育政策の改善を目的に 1952 年に設立。

5) 活動内容

設立当時から 80 年代後半までは、主に高等教育支援基金の拡大など、高等教育の量的拡大に関わる研究・活動分野で貢献。90 年代以降、教育経費の削減や業務の効率化といった政策課題の影響を受け、「高等教育の質・評価の改善」に焦点を当てた研究を精力的に行うようになる。The Collegiate Learning Assessment (CLA)の今日あるかたちでの活動自体は 2000 年の秋から開始され、年々その加盟大学学生数は増加している。CAE は CLA のキーとなる 3 つの要素として、Institution, Value Added, Campus Comparisons を挙げており、総合すると「大学という場で身に付けた付加価値を時系列的に、さらには他大学間との比較の中で分析できる」ということである。

6) その他の特色

Carnegie Corporation of New York, The William and Flora Hewlett Foundation, and Christian A. Johnson Endeavor Foundation 等からサポートがあり、CAE の学生評価の測定を向上させている（各財団の特徴は後述）。

(2) アセスメントの概要

1) 名称

The Collegiate Learning Assessment (CLA)

2) 概要

アメリカの非営利団体 CAE により 2000 年秋から開始された大学生を対象に実施するアセスメント。CLA の最終的な目的は個々の学生の能力向上を測定することよりも、文章力 (written communication)、批判的思考力(critical thinking)、問題解決力 (problem solving)、分析的論理付け能力(Analytic reasoning)といった能力が、各高等教育機関の教育力によりどれほど変容したか (付加価値) を比較測定することを目的としたアセスメントとなっている。大学の入学選抜時に用いられた SAT や ACT のテスト結果と関連付けて分析することで、高等教育の付加価値、つまりは各高等教育機関の教育力を評価できるという点を特徴としている。

また CIC (The Council of Independent Colleges)は学生の資質能力測定の指標として CLA との協働によるコンソーシアム体制を 35 程度の大学間で構築しており、The Teagle Foundation やニューヨークのカーネギー・コーポレーションなどの支援のもと大学などの教育機関がもたらした学生の教育効果および付加価値測定の新たな方策を模索している。(CIC の CLA 活用のコンソーシアム体制については後述)

3) 対象者

アセスメント対象者は大学生 (1 年生と 4 年生) である。しかし、アセスメント結果の利用者は、高等教育機関の教育力を測定する点からすると大学そのものだと考えられる。さらには進路選択のための情報・就職・大学評価という点を考慮すれば、間接的ではあるが学生の保護者、企業、州・政府関係者や高等教育団体も利用者といえる。

4) 受検料

受検料は縦断的分析 (評価方法・内容部分で後述) の場合、1 年生コホート 300 名 (3 回受検)、4 年生春サンプル 100 名で 28,000 ドル (1 大学につき)。これを超えた分は 1 名 35 ドル。

横断的分析 (評価方法・内容部分で後述) の場合、1 年生秋サンプル 100 名、4 年生春サンプル 100 名で 6,500 ドル (1 大学につき)。これを超えた分は 1 名 25 ドル。

5) 特徴

試験の特徴としては①大学入学時・卒業時に実施することから縦断的分析が可能であること、②学生個人の評価より、むしろ高等教育機関の評価を主要な目的としていることである。

また、測定分野のすべてにおいて記述式を採用している点も 1 つの大きな特徴である。記述式を採用することで統合な視点によって評価することができ (インテグレーションコンセプト)、この点が、MAPP、CAAP とは異なる特徴である。また弱点は、パフォーマンスタスクの作成に時間がかかり (18 カ月)、多数の作問が困難なことである (ヒアリングより)。

6) 評価方法・内容

■CLAの課題構成と能力分野

受検者は、1つの作業課題(Performance Task)と2つの分析的課題 (Make an Argument と Critique an Argument) から構成されるアセスメントを行う。試験時間は作業課題が 90 分、分析的課題の Make an Argument が 45 分、Critique an Argument が 30 分で構成されている。

また評価する能力は、文章力 (written communication)、批判的思考力(critical thinking)、問題解決力 (problem solving)、分析的論理付け能力(Analytic reasoning)の4分野である。

表1-2-1 CLAにおける課題の概要

課題の種類	概要	所要時間
Performance-task	与えられた資料を活用し、実生活の活動に係る課題を完遂する。	90分
Make-an-Argument	問題に対する意見を学生に提示して、それに対する賛成、反対の理由を説明させる	45分
Critique-an-Argument	他人が述べた論述を斟酌し、その結論づけの適切さを評価する	30分

■縦断調査と横断調査

受検機関は縦断的と横断的の2つの試験方法を選択することができる。**縦断的方法**とは、ある学生コホートを時系列的に測定する方法だ。まったく同一学生に対して、1年生の初め、2年生(翌年)、4年生の終わり(3年後)に試験を実施する。したがって、測定期間は4年間である。さらに1年生を対象とする最初の年には、同時に4年生の終わりにも実施する。これにより横断的な分析も可能な設計になっている。縦断的方法では、各学生の発達に沿い、時系列的な変化を追跡することができる。年を追うごとにサンプルの減少が予測されるため、横断的方法よりもサンプルサイズを大きくとる必要がある。

これに対して**横断的方法**は、1年生の初めと4年生の終わり(異なるグループ)に対して同じ年に試験を実施する。実施機関の付加価値を測定する一番簡便な方法である。1年生と4年生を比べることにより、大学の付加価値を測定することができる。したがって、測定期間は1年間である。この方法では、他の参加機関と照らし合わせて結果をみるのが可能になる。

また、学生のSATやACTの結果を用いることにより、入学した学生がSATやACTによるCLA予測値よりも結果が高いか低いかを評価することもできる。さらにSATやACTにより調整されたCLAによる測定付加価値を他の参加機関と比較することもできる。

表1-2-2① 縦断的方法と横断的方法の差異

		LONGITUDINAL (縦断的方法)	CROSS-SECTIONAL (横断的方法)
期間		4年間	1年間
試験時間		180分	90分
出題分野		Performance Task Make an Argument Critique an Argument	Performance Task もしくは Make an Argument Critique an Argument
調査 学生 数	1年目	1年生 300名	1年生 300名
		4年生 100名	4年生 100名
	2年目	3年生 300名	-
	4年目	4年生 300名	-
費用		28,000ドル	6,500ドル

■付加価値アプローチ (Value-added approach) について

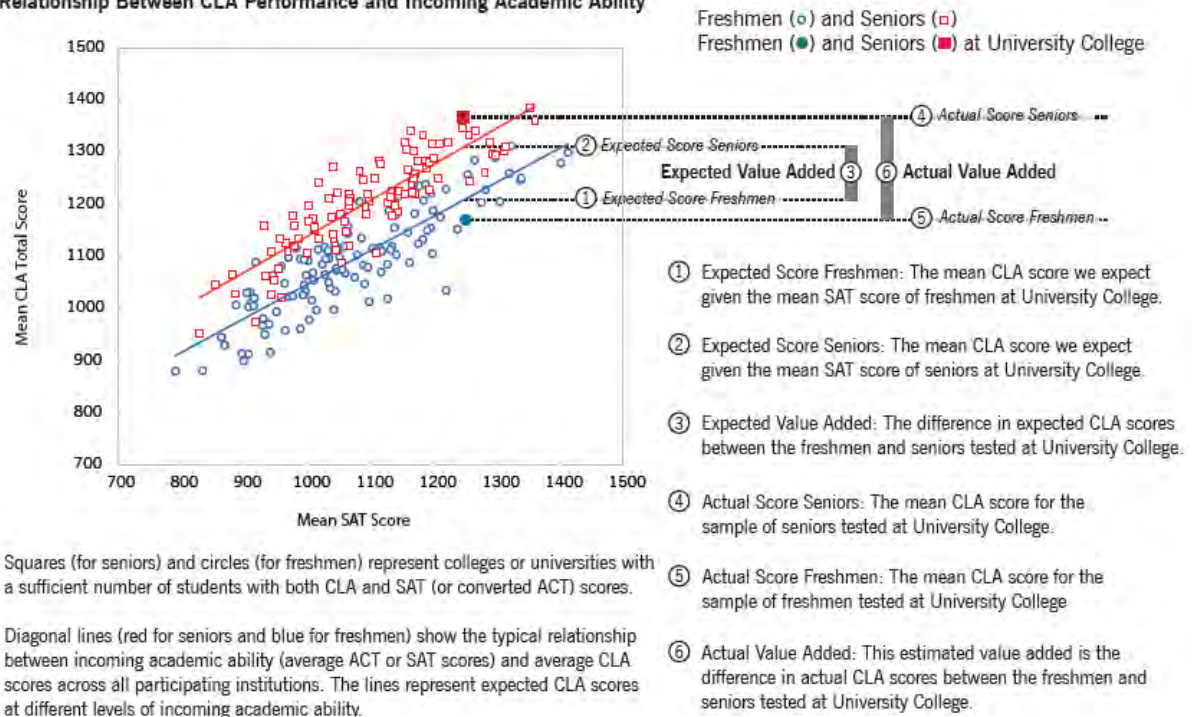
CLAは1年次と4年次を比較して、能力の伸長を把握するものである。SATやACTスコアとの相関で4年間の伸びを予測し、実測値とのかい離によって評価する。

下記図表はCLA Institutional Report 2005-2006からの抜粋である。ある大学に入学した1年次と4年次に実施したテストスコアの差分から得られる高等教育の付加価値(実測値)と、SATやACTの平均スコアから予想される付加価値(期待値)の偏差を6段階(期待どおり、期待を上回る、期待を大きく上回る、期待を下回る、期待を大きく下回る)で評価する。

実測値が期待値を上回ると教育効果が高いことになり、逆に期待値が実測値を上回るときは成果が低いことになる。

なお、CAEへのヒアリングによれば、興味深いことに、SATのスコアによる影響を除去してみても、大学によって4年間の分散が著しく異なる。つまり大学教育によって教育の効果は異なるという。

Relationship Between CLA Performance and Incoming Academic Ability



7) 評価目的・用途

大学の教育力を問うことを主たる目的としていることから、同一大学内での学部間、プログラムの教育学的改善のための比較検討資料として、また学士課程教育の他大学間での達成度比較に用いられる。これにより個別大学はカリキュラムの教育学的改善を実行するとともに、総体的には高等教育全体の課題改善（生産性の向上と財政削減）の実行が可能とされる。

また4年次のテスト結果・就職先との関連性を調査することで、個別大学は職業（雇用）と大学教育との関係性を分析でき、卒業や就職時に必要な能力・スキルの測定を行うことができる（ただし、CAEへのヒアリングによれば、実際に就職時に用いている例は見受けられなかった）

8) 開発プロセス

開発に際しては、多数の財団の支援を受けており、例えばルミナ財団だけみても、2005年11月～2007年10月までの期間に縦断調査の支援のため70万ドル（約7千万円）、2007年8月から2009年7月の期間に149万2千ドル（約1億5千万円）の助成を受けている(Lumina foundation 2008b 2008c)。

9) 普及状況

参考として「CLA Institutional Report 2006-2007」によれば、これまで300の高等教育機関が参加し、70,000人の学生が受検している。直近のデータによれば2007-2008年度における参加機関数は210校で、その内訳は縦断的分析参加校が56校、横断的分析参加校が174校となっており、設置形態別では州立120校、私立89校、無分類1校となっている。州別にみるとカリフォルニア州（29校/323校）とテキサス州（19校/169校）が多い。

10) 大学卒業要件との関連

卒業要件にしている学校は見受けられなかった。

11) その他

■学生の確保、動機づけが課題

学生の参加は強制ではない。このため学生のリクルートと動機づけが重要な課題である。大学側が何らかの報酬を与えたり、説得したりして実施している（ヒアリング）。

学生の参加促進、インセンティブ確保に関する大学側の工夫（Campus Strategies）

1年生の参加を促す最もよい方法:

CLAを一年次のゼミに組み込んだり、コースの中で参加を求める(50%)
新入生オリエンテーションの間に実施する (29%)
教授陣の他助言者を通じてターゲットにアピールする (14%)
金銭的インセンティブ (7%)

1年生の参加を促す最も効果ない方法:

オープンに勧誘しボランティアをアピールすること

4年生の勧誘で最もうまくいく方法:

4年生のゼミや応用実務研修に組み込む(43%)
4年生に直接アピールする（金銭や贈り物をつける・つけないは問わない）(29%)
教授陣を通じてターゲットにアピールする (14%)

4年生の勧誘で効果ない方法:

オープンに勧誘しボランティアをアピールすること(44%)
金銭や贈り物をつけて、オープンに勧誘しボランティアをアピールすること(44%)
金銭や贈り物のみ (22%)

1年生に提供されたインセンティブで最も効果的だったこと

個人へのギフトカード、贈物の身分証明証(29%)
現金(7%)
授業における追加単位 (7%)
特にインセンティブはなかった (50%)

4年生に提供されたインセンティブで最も効果的だったこと:

(インセンティブを与えた内、45%はくじ引きによるものだった)

個人へのギフトカード、贈物の身分証明証 (36%)
追加の卒業切符、学費の割戻し(21%)
現金(14%)
授業における単位の追加(7%)
特にインセンティブはなかった (21%)

1年生、4年生を勧誘するために用いられた付加的な方法:

学長や学部長から学生個人に向けた手紙(30%)
教授陣からのアピール (30%)
評価委員会メンバーが教室においてプレゼンテーション(26%)

*Responses from a survey of CIC/CLA Consortium members, February 2008,
based on experiences covering the past three years より抜粋*

■The CIC/CLA Consortium について

CIC とは 1956 年創設の The Council of Independent Colleges (CIC) のことであり、小中規模の独立大学、リベラルアーツカレッジによって構成され、互いに協力し、社会に対する高等教育の貢献を高めることを目的とする。コンソーシアム体制は 2002 年から開始され、2003 年度に初めて加盟する 12 校の大学が CLA を受検した。背景には The Carnegie Corporation of New York からの 50,000 ドルの補助をうけ、CIC 加盟大学間での学生の学びの向上を促進させることがあったとしている。また 2008~2011 年度のコンソーシアム参加校は 33 校となっている。

表 1-2-2② 2008~2011 年度コンソーシアム大学一覧

Alaska Pacific University (AK)	Pacific University (OR)
Allegheny College (PA)	Seton Hill University (PA)
Aurora University (IL)	Southwestern University (TX)
Averett University (VA)	Stonehill College (MA)
Barton College (NC)	Texas Lutheran University (TX)
Bethel University (MN)	University of Charleston (WV)
Cabrini College (NJ)	University of Evansville (IN)
Centenary College (NJ)	University of Great Falls (MT)
Carleston Southern University (SC)	Ursinus College (PA)
College of Saint Benedict/Saint John's University (MN)	Ursuline College (OH)
Franklin Pierce University (NH)	Wagner College (NY)
Heritage University (WA)	Wartburg College (IA)
Indiana Wesleyan University (IN)	Wesley College (DE)
Loyola University New Orleans (LA)	Westminster College (MO)
Lynchburg College (VA)	Westminster College (UT)
Marian College (WI)	William Woods University (MO)
Pace University (NY)	

■ CLA in the Classroom について

実際に教室で行われる実践と機関の評価活動のリンクに焦点をあてた CLA の新しいイニシアティブ。CLA の結果を、教育実践の向上につなげていく取り組みとして 2008 年から実施されている。大学教授向け 2 日間のトレーニングプログラムである。2008 年内には 10 か所で実施された。

使用が終了した Performance task を学生に受けさせ、学生個人に対して教師がどのように診断的フィードバックを行うかを訓練する。たとえば、コミュニティにおいてどのようにしたら犯罪を減らすことができるか、学生はペーパーとデータを読み込み、考える、クリティカルシンキング、分析的推論、ライティングスキルについての強み、弱みを診断し、学生にフィードバックする。また、教授は準備された課題だけでなく、自ら課題を作成し、自ら採点も行い、CLA を自らの通常の教育に組み込み、改善することができる。

CAE の担当者によれば、このプログラムに参加した前後で、教授側の CLA に対する印象は格段に向上する。

表1-2-3 CLA および CLA in the Classroom の比較

	CLA	CLA in the Classroom
分析の単位	機関	学生個人
目的	すべての学生集団の業績と学習のレベルの確認	学生個人に対する診断的なフィードバック
課題	CLA 心理統計学チームによる作成	CLA が公表するもの、教員個人が作成するものがある
採点	標準化され、CLA の採点者が実施する	教員個人が実施する
サンプリング	母集団からのサンプリング	教員メンバーの指示により実施

(注) CAE 提供資料をベネッセ教育研究開発センターにて翻訳

(3) アセスメントの問題例：和訳のみ

試験名	Performance Task
形式・時間	論述式・制限時間 90 分
特徴	命題に対し、数枚の資料が配布され、資料そのものの整理・分析を行う。そしてその整理・分析結果をもとに命題に対する見解を述べる。
サンプル	<p>(例題) あなたはダイナテックという精密機器や航空機器の会社社長パットウィリアムスのアシスタントである。ダイナテックの営業部門にいる社員サリーエバンズは営業部員の顧客まわりのため、ダイナテックが小型機を購入するように提案した。社長が購入の承認をしようとした矢先に、同一の小型機が航空事故を起こし、社長はそのニュースを耳にしてしまう。</p> <p>*****</p> <p>「アシスタント役」となる受検者に 6 つの資料(事故に関する新聞記事、単発飛行機の空中分解に関する連邦政府の事故報告など) が渡され、その資料を整理・分析し、小型機が事故を起こす要素、またほかに考慮すべき点を記したメモを作成することが求められる。</p> <p>最終的に小型機を購入について自身の見解を述べる、という形式。</p>
試験名	Making-an-Argument
形式・時間	論述式・制限時間 45 分
特徴	提示された短い文章に対して肯定もしくは否定の見解を下し、論理的な説明を行う。
サンプル	<p>(例題)</p> <p>「政府は犯罪の処理よりも、犯罪の抑止に資金を費やすべきだ」</p>
試験名	Critique-an-argument
形式・時間	論述式・制限時間 30 分
特徴	提示された文章が、どれほど論理的か批判的に検討する。議論のロジックの確かさを考慮しなければならない。
サンプル	<p>(例題)</p> <p>ある定評のある教育系ジャーナルに小学生の肥満を研究対象とした 2 年間にわたる調査結果が掲載されていた(肥満とは当該年齢身長に適正体重を 20% 超過していること)。この研究ではスミス小学校の 5 歳から 11 歳の 50 人の小学生がサンプルとなっている。この調査を始める前にスミス小学校付近にファーストフードレストランがオープンした。2 年後、サンプル対象の子どもたちは平均体重と比べて肥満傾向であった。この研究を把握していたジョーンズ小学校の校長は、学校近くにファーストフードレストランがオープンすることを反対することで、自身の小学校の肥満問題に取り組もうと考えたのである。</p>

(4) その他

表1-2-4② CAE のプロジェクトを支援する財団

ニューヨーク カーネギー・コーポレーション	Andrew Carnegie により創設された財団。教育に限らず多方面への慈善活動を行う。
フォード財団	1936年にEdsel Ford, Henry Fordらによって設立される。ニューヨークに拠点を置き、民主主義・貧困撲滅・国際理解の促進を目的とするプロジェクトを支援。報告によれば、2006年度の交付金額は5.3億ドルである。
Chrisitan A. Johnson Endeavor Foundation	主として教育プロジェクトを支援する団体。詳細には私立学士課程段階や芸術関連教育プログラム、また先見的なプロジェクトを支援。
William and Flora Hewlett Foundation	1966年に創設された米国で6番目に大きな財団。教育・芸術のほか、国際的問題である地球環境問題・人口問題なども支援。
The Ewing Marion Kauffman Foundation	1960年にEwing Marion Kauffmanによって設立された財団。カンザスシティーに拠点を構え、20億ドルの資産を保有する(全米30位)。その目的は企業家精神の促進と、子ども・若者の教育の改善である。
Teagle Foundation	1944年に石油会社社長(現在のエクソン・モービル) Walter C. Teagleによって設立。世界平和を希求し、リーダーシップに教養教育の重要性を説き、大学生の学び・研究を支援。
ルミナ財団	インディアナポリスに拠点を置く、民間の独立財団。中等後教育の成功およびアクセスの拡大を支援することにより、人々の潜在能力を顕在化する。1億4千万ドルの資産を持ち、年間の交付金額は5千万ドルである。

【参考文献】

- Council for Aid to Education (2008a), <<http://www.cae.org/>> [2008, Dec 25]
 Council for Aid to Education (2008b), Collegiate Learning Assessment(CLA)
 <http://www.cae.org/content/pro_collegiate.htm> [2008, Dec 25]
 Ewing Marion Kauffman Foundation (2008), <<http://www.kauffman.org/>> [2008, Dec 25]
 Lumina Foundation (2008a) <<http://www.luminafoundation.org/>> [2008, Dec 25]
 Lumina Foundation (2008b), Attainment/Retention Grant
 <http://www.luminafoundation.org/grants/database/data/grant_552.html> [2008, Dec 25]
 Lumina Foundation (2008c), Attainment/Retention Grant

http://www.luminafoundation.org/grants/database/data/grant_555.html [2008, Dec 25]

The Council of Independent Colleges (2008), Collegiate Learning Assessment (CLA) Consortium

http://www.cic.edu/projects_services/coops/cla.asp [2008, Dec 25]

The Council of Independent Colleges (2007), CIC/CLA Consortium – Call for Applications

http://www.cic.edu/projects_services/coops/2008-2011_CLA_Application.pdf [2008, Dec 25]

The Teagle Foundation (2008), <http://www.teaglefoundation.org/intro.htm> [2008, Dec 25]

3. Measure of Academic Proficiency and Progress (MAPP)

(1) アセスメント開発機関

1) 名称

教育テストサービス : Educational Testing Service (ETS)

2) 所在地

Rosedale Road, Princeton, NJ 08541 USA

3) 歴史

アメリカ教育委員会 (The American Council on Education)、カーネギー協会、大学入学試験評議会 (the College Entrance Examination Board)が、それぞれのテストプログラムや、人的・物的資源を拠出しあい、1947年に ETS が設立された (ETS 2008)。

4) 概要

ETS は政府から独立した非営利団体。ミッションは、「公平かつ有効な、アセスメント・研究・そして関連するサービスを提供し、世界の教育の質と平等を促進する」。2,500 名の従業員が世界で活動。2,500 名のうち、1,100 名が教育学・心理学・統計学・心理測定学・コンピューターサイエンスなどの専門分野で教育を受けており、また 600 人が大学院レベルの学位を保持する (内 250 人は博士号取得者)。ニュージャージーのプリンストンに位置する本社をはじめ、全米 8 つの地域にオフィスを有する。また、海外にも、カナダに 1 カ所、ヨーロッパ・オセアニアに 7 カ所、ラテンアメリカに 1 カ所、アジア太平洋地域に 18 カ所のブランチを展開している (ETS の HP)。

5) 活動内容

活動は、研究、アセスメント開発、テストの実施、テストスコアリング、教育関連サービスの 5 分野に大別できる。例えば、研究分野では、「授業と学習効果のアセスメント」、「教員の質」、「スクールリーダーシップ」、「達成度格差」等の研究活動をしている。コンピューター・ベースドテストをアメリカで最初に開発したのも ETS であり、現在世界 180 カ国、9,000 を超える地域で、年間 2,400 万件のテストを実施している。テスト方式は紙媒体、コンピューター・ベースド、インターネット・ベースドなどがあり、64,000 件に及ぶテストの採点が一日で可能な能力を保持している。また、顧客のニーズに応じて、テスト形式や実施回数に関してフレキシブルに対応可能である。ETS が実施する高等教育に関するテストサービスには、MAPP test (Measure of Academic Proficiency and Progress)、MFT (Measure Field Tests)、SIR II (Student Instructional Report)、iSkills Assessment、Criterion Online Writing Evaluation、MFT for MBA、GRE (Graduate Record Examinations) などが含まれる。上記のうち、SIR II は履修コースの学習効果に関する学生に対するサーベイである。また、iSkills Assessment は学生の ICT スキルを測定するテストであり、Criterion Online Writing

Evaluation は学生のライティングスキルをオンライン上で測定し数秒で講評を加えることができるシステムである。高等教育関連以外にも、ETS が提供するテストは様々あり、それには以下のようなものが含まれる（ただし、ETS が提供するテストの全てではない）（ETS 2008）。

表1-3-1 ETS 提供のテスト

到達度測定
<ol style="list-style-type: none"> 1. 代数理解度アセスメント 2. カリフォルニア州ハイスクール卒業試験 3. MAPP (Measure of Academic Proficiency and Progress)
大学レベル学力測定
<ol style="list-style-type: none"> 1. CLEP (大学レベルの 34 の学科・教科に関する知識を測定) 2. EPT&ELM (カリフォルニア州立大学入学者対象の英語・数学能力測定) 3. SAT On-Campus Program (大学入学レベルの知識の有無を問うテスト)
大学準備
<ol style="list-style-type: none"> 1. AP (高校生が、大学の授業を履修し単位修得が可能なレベルに達しているかを測定) 2. PSAST/NMSQT (National Merit Scholarship Corporation による奨学金授与判定のテスト材料として用いられる) 3. SAT – SAT Program
初等・中等教育レベル
<ol style="list-style-type: none"> 1. High Schools That Work Assessment 2. MGA – Middle Grades Assessment 3. NAEP – National Assessment of Educational Progress 4. SLEP – Secondary Level English Proficiency Test
国際
<ol style="list-style-type: none"> 1. CELLA – Comprehensive English Language Learning Assessment) 2. TFI – Test de francais international 3. TOEFL ITP 4. TOEFL 5. TSE (Test of Spoken English) 6. TOEIC Bridge
職業能力育成
<ol style="list-style-type: none"> 1. NBPTS – National Board for Professional Teaching Standards 2. ParaPro Assessment 3. Praxis 4. SLLA – School Leaders Licensure Assessment 5. SLS – School Leadership Series 6. SSA – School Superintendent Assessment 7. TOEIC

出典：ETS ホームページより

6) その他の特色

ACT が教育分野とビジネス分野の双方にサービスを提供することをミッションで明確に述べている一方で、ETS は教員、学生、父母、教育機関に対するサービスの展開を強調している。

(2) アセスメントの概要

1) 名称

Measure of Academic Proficiency and Progress (MAPP)

2) 概要

全国の高等教育機関を対象とした標準学力テスト。高等教育における一般教育 (general education) プログラム終了時における到達度・理解度を測定するための試験であり、一般教育レベルの知識やスキル、の査定、評価、向上、プログラムの改革等を目的にしており、performance funding や認証評価の判断材料としても利用されている (ETS 2008)。

3) 対象者

アセスメント対象者は大学生 (大学 1~4 年の全ての学年に対応) であり、テスト結果を利用するのは実施する高等教育機関自身である。

4) 受検料

表1-3-2① MAPP の受検料

	ペーパー (25のパッケージ)	オンライン
標準形式		
500まで	\$394.75	\$15.80
500以上	\$369.75	\$14.80
短縮形式		
500まで	\$344.75	\$13.80
500以上	\$319.75	\$12.80
オプションエッセイ	\$5.00	\$5.00

5) 特徴

一般教育プログラムにおいて学生が獲得した知識・スキルを測定する。出題形式は、一般教育プログラムで学習するそれぞれのレベルの社会科学、人文科学、自然科学の文章を読解させ、文

章に関する多枝選択式への解答から、critical thinking（以下、批判的思考力）、reading（以下、読解力）、writing（以下、文章力）、mathematics（以下、数学的能力）の能力を測定する。またペーパーベースとインターネットを経由したコンピューターベースの2種の試験が存在する。

試験形式について、各高等教育機関の目的に応じて標準と短縮の2つのオプションが用意されている。標準形式は、108題の問題から構成され、所要時間は約2時間（60分のテストを2セッション一度に、あるいは二度に分けて実施）である。

短縮形式は、個人レベルのパフォーマンスに関する情報を得るためでなく、最低50人以上のグループレベルのパフォーマンスを知るためにデザインされたテスト形式である。36題の問題から構成されており、所要時間は40分（1セッション40分）となっている。

表1-3-2② 標準形式

所要時間 2時間
出題形式 多枝選択式
総問題数 108問

	批判的思考力	読解力	文章力	数学的能力
人文科学	9問	9問	27問	27問
社会科学	9問	9問		
自然科学	9問	9問		
計	27問	27問	27問	27問

エッセイ作成をオプションとして加えることが可能

表1-3-2③ 短縮形式

所要時間 40分
出題形式 多枝選択式
総問題数 36問

	批判的思考力	読解力	文章力	数学的能力
人文科学	3問	2~4問	9問	9問
社会科学	3問	2~4問		
自然科学	3問	2~4問		
計	9問	9問	9問	9問

エッセイ作成をオプションとして加えることが可能

標準形式・短縮形式のどちらの場合でも、大学側はオプションとして筆記試験（エッセイ作成）や、独自に作成した質問項目を追加（合計 50 項目まで）することが可能となっている。

2007 年より、完全に試験監督の必要がない MAPP を導入した（同種の試験としては全米唯一）。このタイプの MAPP を利用することで、テスト利用機関及び受検者の負担が大きく軽減されるとともに、distance-learning の学生にも対応しやすくなった。また、MAPP の得点は、ETS が 1987 年以来実施していた一般教育プログラムの効果測定テストである Academic Profile（MAPP 導入後は廃止、詳細は「開発プロセス」の部分参照）の得点との比較が可能となっているので、時系列的、そしてクロスセクショナルな比較ができる（ETS 2008）。

6) 評価方法・内容

評価方法・内容は、テスト得点と堪能度判定（Proficiency Measures）を基になされる。評価の報告形式は、相対評価得点（Norm-referenced scores）と絶対評価得点（Criterion-reference scores）に大別される。

まず、相対評価得点とは、特定の学生や学生グループの得点を他の学生やグループの得点と比較をする場合や、あるいは特定の学生やグループの時系列での比較に適しており、ベンチマーキングや育成状況の把握に便利である。この相対評価得点は、総得点、4つのスキル得点（批判的思考力、読解力、文章力、数学的能力）、そして3つのコンテキスト得点（人文科学、社会科学、自然科学）という合計8種類の得点を表示する。

次に、絶対評価得点とは、堪能度判定を用いて批判的思考/読解力、文章力、数学的能力の三分野に関して、各々レベル I～IIIまでの三段階の基準に対して、堪能（proficient）か最低限度以上（marginal）か、あるいは最低限度未満（Not proficient）かという堪能度分類（proficient classification）よって行う評価である。例えば、批判的思考/読解力のレベル I では「学生は、出題文に明確に記述されている事実関係を認識でき、出題文のコンテキストに則した単語やフレーズの理解ができる」というレベルの能力に関して、堪能（P）、最低限度以上（M）、最低限度未満（N）の評価を示す（ETS 2008）。表1-3-2④に示したのは、標準形式の MAPP を受けた場合に ETS から送付されてくる、個別学生のスコアレポートの例である。

表1-3-2④ MAAP スコアレポート形式 (例)

相対評価得点

総得点 (400~500)	スキル (100~130)				コンテキスト (100 から 130)		
	批判的思考力	読解力	文章力	数学的能力	人文科学	社会科学	自然科学
429	118	111	115	122	111	109	114

絶対評価得点

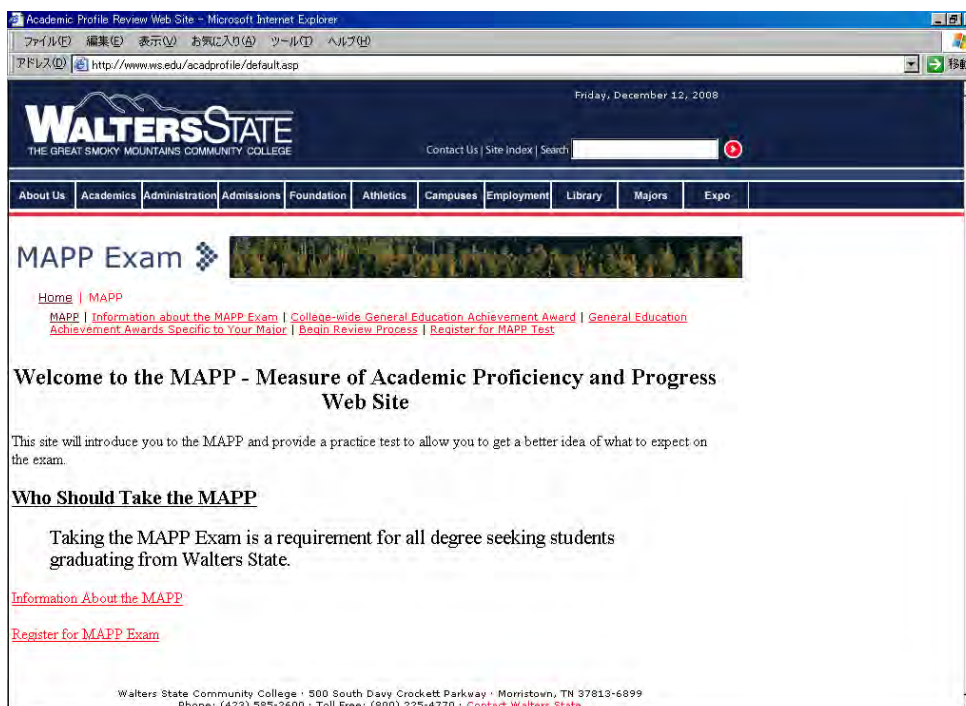
堪能度分類								
P=Proficient; M=Marginal; N=Not proficient								
批判的思考力/読解力			文章力			数学的能力		
レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 1	レベル 2	レベル 3
P	M	N	P	M	N	P	P	M

7) 評価目的・用途

テスト結果は縦断調査やクロス分析といった統計手法を用いて行われ、学生の学習到達度や提供している教育カリキュラムの付加価値度を評価、大学間の教育成果比較、パフォーマンスファンディング等に利用される。また、入学時、2年時、卒業時、と学生の得点を比較できるので、MAPPでの評価が向上した学生のバックグラウンドを調査分析し、入学者選抜の判断材料や伸びる可能性の高い学生をリクルートする際の資料として活用できる (ETS 2008)。あるいは、MAPPの評価によって弱点を把握し、履修すべきコースを学生に推薦するといった、アカデミックカウンセリングの材料としても利用可能である (ETS 2008)。

MAPPの利用に関する具体的な事例として、例えば、メリーランド大学ユニバーシティカレッジ (University of Maryland University College 以下、UMUC) では、プログラム開発の指標として、そしてパフォーマンスファンディングに対する報告材料として利用している (UMUC 2008)。あるいは、Walters State, the Great Smoky Mountains Community College は学内奨学金の応募要件として MAPP の受検を義務付けており、General Education Achievement Award のトップ賞は、MAPPでの最高得点獲得者に与えられる (Walters State The Great Smoky Mountains Community College 2008)

図1-3-2 学位要件における MAPP の位置づけ(州立ウォルターコミュニティカレッジ)



8) 開発プロセス

1987 年以来、ETS は College Board と共同で、読解力、文章能力、数学的能力、批判的思考の 4 分野から構成される「Academic Profile」という一般教育プログラムの達成レベルを測定するテストを実施してきたが、これは 2006 年 6 月に廃止された。2006 年 1 月、ETS は Academic Profile の後継テストとして MAPP の提供を始める。MAPP でのスコアは Academic Profile のスコアと統計的に等しく扱えることが証明されているので、過去 Academic Profile を利用していた機関は、蓄積されたデータを MAPP のデータと比較し、傾向などを検討することが可能である (ETS 2008)。

9) 普及状況

2007 年において MAPP を利用する高等教育機関は 350 以上に達する。ETS は、MAPP の得点を分析する際に、382 を超える高等教育機関からの約 312,000 名の学生から得られた全国規模のデータを使用している (Texas A&M University 2007)。また、MAPP は、VSA における「Student Learning Outcomes」を測定するテストの一つとして選ばれている。

VSA (the Voluntary System of Accountability) とは、The American Association of State Colleges & Universities (AAC&U) と the National Association of State Universities & Land-Grant Colleges (NASLGC) により、2006 年に設立された公立高等教育機関の学士課程学生の情報収集の為の共同プロジェクトであり、VSA の報告文書である College Portrait は「student and family information」、「student experiences and perceptions」、「student learning outcomes」によって構成される (ETS 2008)。

10) 大学卒業要件との関連

卒業要件に関係ある場合とない場合に分かれている。関係ある場合のケースとして、Northeast State Technical Community College, Tennessee が、卒業前の最終セメスターに MAPP を受検することを、卒業要件としている例が挙げられる (State Technical Community College Northeast Tennessee 2004)。あるいは、Tennessee State University では、卒業を控えた 4 年生全員に対してだけでなく (Tennessee State university 2008a)、51~60 単位を修得し、かつ専攻の一般教育単位修得要件を満たした 2 年生全員に対して MAPP 受検を義務付けている (Tennessee State university 2008b)。

また、Concordia University Wisconsin でも、卒業を控えた 4 年生は全員、最終セメスターに MAPP を受検しなければならない (Concordia University Wisconsin 2008)。Lander University, South Carolina では、1 年生全員に対して入学オリエンテーション期間中に、また卒業を控えた 4 年生全員に対して MAPP 受検を義務付けている (Lander University 2008)。

次に卒業要件とは関係ないケースとして、例えば UMUC が挙げられる。UMUC では、MAPP の点数が卒業や成績に影響を与えることはない。ただし、MAPP の受検が義務付けられているコースでは、MAPP 受検が当該コースの「課題」得点の一つとなっていることから、MAPP を受検しない場合、課題得点の一つを失うことになる。

(3) アセスメントの問題例：和訳と英文

試験名	MAAP
形式・時間・問題数	多項目選択・2 時間 (標準) か 40 分 (短縮) ・108 題 (標準) か 36 題 (短縮)
指示	社会科学問題からの文章 (28 行程度) を読んで問題に答える
サンプル	(問題) 出題文 14 行目の「Community of disease」によって、著者は何を意味しようとしているのか。以下のものから最も適切なものを選び
	(A) ある社会で頻繁に発生する病気に対して、その社会の構成員は抗体を発達させているのが一般的である
	(B) 同じ社会に所属している構成員だけがある種の病気に罹りやすい
	(C) 世界の多様な民族が同じ病気に感染することにより、それら民族間に関係が構築される
	(D) 病気がもたらす壊滅的な影響は、その病気に苦しむ人々の間に、連帯に繋がる要因を形成する

出典：ETS 2008b

正解： (C)

【参考文献】

- ETS: Educational Testing Service (2008a), <<http://www.ets.org>> [2008, Dec 25]
- Educational Testing Service (2008b), Measure of Academic Proficiency and Progress (MAPP) Sample Questions <<http://www.ets.org/Media/Tests/MAPP/pdf/mappsamplques.pdf>> [2008, Dec 25]
- Walters State The Great Smoky Mountains Community College (2008), General Education Achievement Award Program <<http://www.wscscc.cc.tn.us/news/achievement.asp>> [2008, Dec 25]
- State Technical Community College Northeast Tennessee (2004), MAPP Exit Exam <<http://www.northeaststate.edu/default.asp?DocumentID=990>> [2008, Dec 25]
- Tennessee State university (2008a), Senior Exit Examination <<http://www.tnstate.edu/interior.asp?mid=1696&ptid=1>> [2008, Dec 25]
- Tennessee State university (2008b), Rising Junior Examination <<http://www.tnstate.edu/interior.asp?mid=1695&ptid=1>> [2008, Dec 25]
- Concordia University Wisconsin (2008), Assessment MAPP Test <http://www.cuw.edu/Academics/assessment_mapp_test.html> [2008, Dec 25]
- Lander University (2008), Assessment MAPP - Measure of Academic Proficiency and Progress <<http://www.lander.edu/assessment/MAPP/>> [2008, Dec 25]
- Texas A&M University (2007), Texarkana announces top achiever of national exam < <http://www.tamut.edu/news/MAPP%20Release.htm> > [2008, Dec 25]

4. Collegiate Assessment of Academic Proficiency (CAAP)

(1) アセスメント開発機関

1) 名称

ACT

2) 所在地

500 ACT Drive, P.O. Box 168, Iowa City, Iowa 52243-0168 USA

3) 歴史

ACTの前身は、1959年に設立された The American College Testing Program (ACTP) である。ACTPは当初、大学アドミッション用のテスト (The ACT Assessment) を主として提供していたが、次第に初・中等教育で使用されるテストへ、そして企業・政府・諸団体の人材開発に必要とされるテストやサーベイ関連のサービスへと広がっていった。1996年、名称を ACT に変更し、2002年にはミッションを「教育および職場での成功達成を支援する」に定めた。また、ACTの活動が、国際的に広がりを見せることをうけて、2005年には「ACT International, B.V.」を設立するに至っている。現在、14人のメンバーから構成されるガバニングボードを筆頭に、州代表アドバイザーボード、教育アドバイザーボード、労働力開発アドバイザーボードによって、ACTの活動は調整されている (ACT,2008)。

4) 概要

ACTは政府から独立した非営利団体。初等、中等、高等教育の分野、そして非営利・営利・政府関係の労働力開発の分野において、100を超えるアセスメント、研究などのサービスを提供している。本社のあるアイオワ州のアイオワシティのみならず、全米12地域、そして国際的に5つのオフィスを展開する。ミッションは、「教育および職場での成功達成を支援する」であり、現在約1,500名の従業員が世界的に活動している (ACT 2008)。

5) 活動内容

ACT's Education Division (教育部門) では、教育到達度を測定するためのテストやプログラムを開発し、またデータの保存を行っている。さらに、提供するテストやプログラムの使用や影響に関する研究も実施し、ACTが提供するテストのより良い使い方の提案も行っている。

ACT's Workforce Development Division (労働力開発部門) では、個別企業・公的組織・団体などの要求に応じた、採用・トレーニング・昇進・リテンション向上、に関する包括的なアセスメントテストやプログラムを提供している。また、ジョブアナリシス、組織デザイン、研究、報告、などに関する様々なコンサルティングも手掛け、マーケティングや売上向上のサポートも行っている。さらに、テストを通じて、多種のライセンスやサーティフィケートを提供している (ACT,

2008)。

表1-4-1 ACTが開発・実施する主なテスト

テスト名	主なテスト対象者	主な目的
ACT	高等教育進学希望者	入学選抜の材料
EXPLORE	第8・第9グレード (中学2・3年生)	学力判定
PLAN	第10グレード (高校1年生)	学力判定
QualityCore	高等学校	大学準備プログラムの改善
College Readiness Standards	第12グレード (高校3年生)	EXPLORE, PLAN, ACTの得点からみた学力推移の状況を報告
Workkeys	学生、社会人	ジョブスキルの測定
DISCOVER	学生、社会人	キャリアプランニング
COMPASS	大学生	入学者の学力レベル
EPAS (Educational Planning and Assessment System)	第8/第9、第10、 第11/12グレード	高校準備から高校修了レベルの能力判定
CAAP	大学2年生	一般教育修了レベルの学力判定

6) その他の特色

ACT設立以前には、全国レベルの大学アドミッションテストはETSが開発したSAT1つしか存在せず、この全国テストの主要な役割は、有名大学に入学するに相応しい優秀な若者を選別することであった。全国テストを受検しない学生に対しては、各州や個別大学が実施するテストの得点により入学先が決められていた (ACT 2008)。

1950年代後半から、大学進学希望者が急増し、また大学機関の側でも入学定員の拡大を望んだ。進学需要が拡大するにしたがい、進路指導、入学基準、そして奨学金支給基準はどうあるべきか、といった全国の大学・学生の情報ニーズが高まった。こうした要求に対し、特定大学のための優秀な学生選抜を目的としていた従来の全国テストでは対応できなかった。このような背景のもと、以下の二つの目的をもって、1959年に the ACT Assessment が開発・実施されるに至った (ACT 2008)。「学生が、大学や専攻の選択において、よりよい決定ができるための助力となる」「大学が、入学させたい学生を選抜するための助力に、そして入学後の学生の成功をよりの確に予想できるための助力となる」。

(2) アセスメントの概要

1) 名称

Collegiate Assessment of Academic Proficiency (CAAP)

2) 概要

国家レベルの標準学力テスト。大学生の一般教育 (general education) 終了時における到達度・理解度を測定するための試験である。一般教育レベルの知識やスキルの査定、評価、向上を目的にしている。

3) 対象者

テストの対象者は通常大学 2 年生であるが、他学年の学生にも使用されている場合がある。テストの利用者は主として各高等教育機関である。

4) 受検料

受検料は 55 ドル、期限を過ぎてからの受検申込は 65 ドル。

1 モジュール 15 ドル、エッセイは 20 ドル。

5) 特徴

読解 (reading-36 問)、文章表現力 (writing skills-72 問)、エッセイ作成 (writing essay-2 パート)、数学的能力 (mathematics-35 問)、科学的能力 (science-45 問)、批判的思考力 (critical thinking-32 問) の 6 分野 (モジュール) から、各機関の目的やミッションに応じて、利用する分野のテストを選択することができる。

高等教育機関側は、オプションとして共通問題以外に、最大 9 問まで各機関特有の問題をテストに挿入可能となっている。また、テスト実施日は統一されているのではなく、個別機関が独自に実施日を指定できる。受検者のテストに対する態度を判定することをねらいとして、モチベーションに関する質問事項がある (ACT 2008)。

表 1-4-2① CAAP の構成

モジュール	出題形式	問題数	所要時間
読解 (reading)	多枝選択式	36	約 50 分
文章表現力 (writing skills)	〃	72	〃
数学的能力 (mathematics)	〃	35	〃
科学的能力 (science)	〃	45	〃
批判的思考力 (critical thinking)	〃	32	〃
エッセイ作成 (writing essay)	記述式	2 パート	40 分

*モチベーションに関する質問事項がある

6) 評価方法・内容

エッセイ作成以外のモジュールは、多枝選択式で構成されている。例えば、批判的思考力のモジュールは32項目から成り、議論の明確度合い、分析、評価、議論を展開する能力が測定される。批判的思考モジュールの得点とWGCTA (The Watson-Glaser Critical Thinking Appraisal) との相関は0.75である。

CAAPは学生の一般教育の学習成果の測定に直接使うほか、入学時にCAAPを受検した同じ学生集団を2年時、3年時、4年時と追跡調査すれば、大学教育によって学生が獲得した付加価値を測定することができる(縦断調査)。また、高校生を受検するACTやCAMPASSと比較することによって、大学教育の付加価値を測定することもできる。CLAと同様に、グループを統制したうえで、新入生の秋学期始めに受検してもらい、同じ年に2、3、4年生の春学期の終わりに受検してもらえば、大学の付加価値を測定することができる。

テストのスコアは範囲が40~80、平均値が60、標準偏差が約5として示される。また、大学入学時に受検するACTのスコアが高い学生は、専攻によらず、大学2年時にうけたCAAPのスコアも高いことが統計的に有意な結果として示されている(ACT 2008)。

表1-4-2② CAAP 各分野の評価内容

読解テスト

約900語から成る4つの文章が出題され、以下の能力を測定する

- ①文章中に明確に述べられていること
- ②文章中に間接的に述べられていることの意味を推論する
- ③結論を引き出す
- ④比較
- ⑤文章を超えて一般化すること

文章表現力テスト

6つの短文が出題され、英語能力を以下の点から測定する

- ①句読点
- ②文法
- ③文構造
- ④文章戦略
- ⑤文章組織
- ⑥文章スタイル

数学的能力テスト

以下の項目についての理解力を測定する

- ①初等代数
- ②初級、中級、上級代数
- ③座標幾何学
- ④三角法

基礎代数とカレッジ代数の点数が総得点とは別に報告される

科学的能力テスト

生物学、化学、物理学、等の分野における知識と推論の能力を測定する。数学や読解力の評価には重点を置いていない。以下の3つのフォーマットから構成される。

- ①データ表示：図やテーブルによるデータの出題
- ②リサーチサマリー：一つ、あるいは複数の関連した実験の説明からの出題
- ③相反する観点：他の視点や仮説の理解力、分析力、比較検討力

批判的思考力テスト

4つの文章から以下の能力を測定

- ①議論を明確にする能力
- ②議論を分析する能力
- ③議論を評価する能力
- ④議論を拡張する能力

エッセイ作成

- ①文、段落を完成させる力
- ②制限時間内に、筋道を立てて、明確に文章を書ける力
- ③提示された仮定の状況に対して、意思決定を行い、なぜ自説が他の決定に比べて優れているか（あるいは最善であるか）を説明する力

7) 評価目的・用途

各大学の一般教育プログラムの向上（強みと弱みの評価）や学生の付加価値の評価のための資

料として、そして制度的な教育システムの改善のために利用される。また、アクレディテーション団体が、一般教育プログラムの質保証に対する実証・比較可能な資料を求める場合が多く、その提出資料として使用される。さらに、performance funding の判断資料の一つとして CAAP テストの得点を用いる州もあり、高等教育機関にとっては、アカウントビリティに関する報告材料として利用可能である。また、個別の学生に対して、上級学年での学習準備や適応状況の診断、あるいはアカデミックアドバイスの資料として活用されている (ACT 2008)。

表1-4-2③ CAAP 活用のケース

<p>ケース1 (セントルイスコミュニティカレッジ 以下、SLCC) : 州政府の要求に応えるため</p> <p>SLCC はミズーリ州の2年制大学。ミズーリ州の performance funding では、大学が毎年学生の学問的達成度を証明するために、標準テストの結果を高等教育調整局へ提出することを求めている。SLCC でも学生が4年生大学への転学や雇用に向けて学問的に準備ができていないかを調べるための標準テストを必要としていた。このような背景のもと、SLCC ではすでに10年以上 CAAP を州への報告および卒業要件として利用している。</p> <p>※2008年現在、SLCC では「すべての学位志願者は CAAP 出口試験を受検する必要がある。試験を受けなければ学位を受けることはできない」としている。</p> <p>http://www.stlcc.edu/Admissions_and_Registration/Advising/Preparing_for_Graduation.html</p> <p>ケース2 (フロントレンジコミュニティカレッジ 以下 FRCC) : 認証評価への利用</p> <p>FRCC は3つのキャンパスに28000名の学生を擁するコロラドのコミュニティカレッジ。1990年代の終わりに認証評価団体からアセスメントの強化を提案された。FRCC では認証評価チームに一般教育の強みを証明するためのアセスメントを必要とし、学生、州政府、納税者に FRCC の教育の価値を示すためにプログラムを評価する方法を模索していた。</p> <p>FRCC では1999年に ACT の CAAP をすべての卒業する学生に対して義務づけた。スコアは学生の成績表への記録はせず、成績にも含まない。ただし、総合スコアは、一般教育プログラムを測定し、各キャンパスにおける均質の一般教育を保証する方法として利用している。</p> <p>コロラド州では高校生に ACT の受検を求めている。そこで、FRCC は大学の付加価値をみるために ACT/CAAP のリンクレポートの活用も始めた。</p> <p>ケース3 (サウスダコタ州) : 州の義務づけ</p> <p>サウスダコタ州理事会では州内の6つの大学を監督している。理事会では、各大学の卒業生が質の高い教育を受けられるように保証する責任がある。</p> <p>1998年、理事会および大学では大学生に個人の大学における発達の情報を提供するとともに、一般教育プログラムの質を測る必要があると判断した。</p> <p>理事会は学生が48単位分の時間学習をした後、CAAP テスト (読解、文章表現力、数学的能力、科学的能力) を課すことを決めた。理事会は各大学の状況をまとめた年次報告を出している。これらのアカウントビリティレポートは公開され、州知事や州議会へ報告される。</p>

ケース4（カールアルバート州立大学 以下、CASC）：

認証評価のため

CASCは北中部協会によって認証評価を受けており、5年に1度再認証評価の厳しいプロセスを経なければならない。NCAが認証評価を受けるためには、学校改善計画を立てる必要があり、この計画の一部には、学生の伸びを記録するための明確なアセスメントシステムを含まねばならない。

一年次のオリエンテーションの際にCASC入学生はCAAPの批判的思考力テストを行う。大学は45時間修了した学生がCAAPの読解、文章表現力、数学的能力、科学的能力、批判的思考力のテストを受けるように勧めている。毎年200名程度の学生が受検している。

CASCは毎年、入学時、中間、プログラムアウトカムアセスメントを含む学生アセスメントレポートを刊行している。2002年の認証評価レビューの際には、一般教育プログラムの質を示すために学生アセスメントを活用した。

8) 開発プロセス

CAAPの開発にあたっては、全米の大学教育の一般教育プログラムについて調査を行った。調査において一般的な教育項目を明らかにし、その分野を中心にアセスメント開発を行っている。

数年おきにこのような調査を行うことで、アセスメントがアップデートされる流れができているという（ヒアリング調査）。

9) 普及状況

1988年の開始以来、550を超える2年制・4年制の高等教育機関において利用されてきた。2003～2006年間のCAPP利用機関数は、2年制の公立と私立の高等教育機関でそれぞれ163校と20校、4年制の公立と私立の高等教育機関でそれぞれ79校と119校であり、合計380校を超えている（ACT 2008）。

また、CAAPは、VSAにおける「Student Learning Outcomes」を測定するテストの一つとしても選ばれ、Critical ThinkingとWriting EssayのテストをVSAに提供する。

10) 大学卒業要件との関連

ミシシッピ女子大学のようにCAAPの受検を義務付け、卒業要件に含めている機関も存在する（Mississippi University for Women Core Curriculum Committee 2008）。また、ユタ州立ウェバー大学のように、入学時の選考資料として使用している機関もある（Weber State University 2008）。

(3) アセスメントの問題例：和訳と英文

試験名	文章表現力
形式・時間・問題数	多枝選択式・約 50 分・72 題
サンプル	【問題】 By the forth day I had to face the truth: my body was slowly changing to <i>becoming</i> dough. So I tied on my running shoes and loped out to the main road in search of a five-mile route. <i>Out of curiosity</i> , I turned onto Lookout Road and soon discovered how the road had come by its name.
	1-A. NO CHANGE
	1-B. become
	1-C. being
	1-D. OMIT the underlined portion
	2-A. NO CHANGE
	2-B. Out of curiosity, Lookout Road was turned into
	2-C. Having become curious, Lookout Road was the route I turned onto
2-D. Curious, a turning into Lookout Road was what I did	

試験名	数学的能力
形式・時間・問題数	多枝選択式・約 50 分・35 題
サンプル	【問題】座標幾何学（初級） X・Y 座標上の直線が、 $(-1, 1)$ と $(2, 3)$ を通るとき、この直線と Y 軸との交点は以下のうちどれか
	A. $(0, 2/3)$
	B. $(0, 5/3)$
	C. $(0, 2)$
	D. $(0, 5/2)$
	E. $(-2, 0)$

試験名	エッセイ作成
形式・時間・問題数	記述式・40分・2パート
サンプル	<p>【問題】パート1</p> <p>あなたの所属する大学の管理部は、学部生に対して体育の履修を義務付けるべきかを検討している。管理部はこの提案に対する学生の意見を求めている。管理部によると、体育履修の義務付けが大学の教育ミッションにどのような影響を与えることになるのか考慮して、最終結論を出すという。体育履修の義務付けがなされるべきか否かについて、自説を展開し、管理部に手紙を書きなさい。</p>

1. リーディング：小説

On Union Boulevard, St. Louis, in the 1950's, there were women in their eighties who lived with the shades drawn, who hid like bats in the caves they claimed for home. Neighbors of my grandmother, they could be faintly heard through a ceiling or wall. A drawer opening. The slow thump of a shoe. Who they were and whom they were mourning (someone had always just died) intrigued me. Me, the child who knew where the cookies waited in Grandma's kitchen closet. Who lined five varieties up on the table and bit from each one in succession, knowing my mother would never let me do this at home. Who sold Girl Scout cookies door-to-door in annual tradition, who sold fifty boxes, who won The Prize. My grandmother told me which doors to knock on. Whispered secretly, "She'll take three boxes—wait and see."

Hand-in-hand we climbed the dark stairs, knocked on the doors. I shivered, held Grandma tighter, remember still the smell which was curiously fragrant, a sweet soup of talcum powder, folded curtains, roses pressed in a book. Was that what years smelled like? The door would miraculously open and a withered face framed there would peer oddly at me as if I had come from another world. Maybe I had. "Come in," it would say, or "Yes?" and I would mumble something about cookies, feeling foolish, feeling like the one who places a can of beans next to an altar marked *For the Poor* and then has to stare at it—the beans next to the cross—all through the worship. Feeling I should have brought more, as if I shouldn't be selling something to these women, but giving them a gift, some new breath, assurance that there was still a child's world out there, green grass, scabby knees, a playground where you could stretch your legs higher than your head. There were still Easter eggs lodged in the mouths of drainpipes and sleds on frozen hills, that joyous scream of flying toward yourself in the snow. Squirrels storing nuts, kittens being born with eyes closed; there was still everything tiny, unformed, flung wide open into the air!

But how did you carry such an assurance? In those hallways, standing before those thin gray wisps of women, with Grandma slinking back and pushing me forward to go in alone, I didn't know. There was something here which also

smelled like life. But it was a life I hadn't learned yet. I had never outlived anything I knew of, except one yellow cat. I never had saved a photograph. For me life was a bounce, an unending burst of pleasures. Vaguely I imagined what a life of recollection could be, as already I was haunted by a sense of my own lost baby years, golden rings I slipped on and off my heart. Would I be one of those women?

Their rooms were shrines of upholstery and lace. Silent radios standing under stacks of magazines. Did they work? Could I turn the knobs? Questions I wouldn't ask here. Windows with shades pulled low, so the light peeping through took on a changed quality, as if it were brighter or dimmer than I remembered. And portraits, photographs, on walls, on tables, faces strangely familiar, as if I was destined to know them. I asked no questions and the women never questioned me. Never asked where the money went, had the price gone up since last year, were there any additional flavors. They bought what they remembered—if it was peanut-butter last year, peanut-butter this year would be fine. They brought the coins from jars, from pocketbooks without handles, counted them carefully before me, while I stared at their thin crops of knotted hair. A Sunday brooch pinned loosely to the shoulder of an everyday dress. What were these women thinking of?

And the door would close softly behind me, transaction complete, the closing click like a drawer sliding back, a world slid quietly out of sight, and I was free to return to my own universe, to Grandma standing with arms folded in the courtyard, staring peacefully up at a bluejay or sprouting leaf. Suddenly I'd see Grandma in her dress of tiny flowers, curly gray permanent, tightly laced shoes, as one of *them*—but then she'd turn, laugh, "Did she buy?" and again belong to me.

Gray women in rooms with the shades drawn . . . weeks later the cookies would come. I would stack the boxes, make my delivery rounds to the sleeping doors. This time I would be businesslike, I would rap firmly, "Hello Ma'am, here are the cookies you ordered." And the face would peer up, uncertain . . . cookies? . . . as if for a moment we were floating in the space between us. What I did (carefully balancing boxes in both my arms, wondering who would eat the cookies—I was the only child ever seen in that building) or what she did (reaching out with floating hands to touch what she had bought) had little to do with who we were, had been, or ever would be.

Naomi Shihab Nye, "The Cookies." © 1982 by Naomi Shihab Nye.

Sample Items for Passage 2

1. Which of the following statements represents a justifiable interpretation of the meaning of the story?
 - A. The girl's experience selling Girl Scout cookies influenced her choice of careers.
 - B. The girl's experiences with elderly women made her aware of the prospect of aging.
 - C. Because she spent so much time with her grandmother, the girl preferred the company of older people to that of other children.

- D.The whole experience of selling Girl Scout cookies was a dream or hallucination and had nothing to do with who the girl really was.
2. When she delivered the Girl Scout cookies, the girl most likely adopted a businesslike attitude because:
- A. she hoped that such an attitude would persuade the elderly women to buy more cookies.
 - B. her grandmother had urged her to be more polite.
 - C. she wanted to avoid recalling the thoughts she had during her previous visit.
 - D. the elderly women really wanted little to do with her.
3. The girl was taken aback by the sight of her grandmother (5th paragraph) because:
- A. the grandmother has a look of disapproval on her face.
 - B. it seems odd that her grandmother should be staring at a bluejay.
 - C. the grandmother asks if the woman bought any cookies.
 - D. it occurs to the girl that her grandmother is an old woman.
4. What conclusion can most justifiably be drawn about the adult woman who narrates the story?
- A. She understands her reaction to the elderly women better now than she did as a girl.
 - B. She now looks down on elderly women and their way of living.
 - C. She is concerned about living conditions for the poor.
 - D. She believes she should never have tried to sell cookies to the women.

Answers:

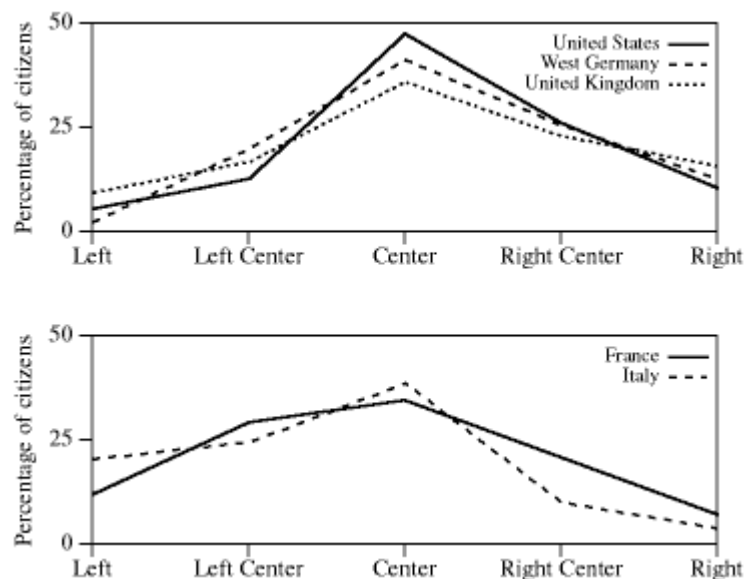
1. B. 2. C. 3. D. 4. A.

2. リーディング：社会科学

If we are to understand the politics of a nation, we must understand the issues people care about and the underlying images of the good society and how to achieve it that shape their opinions. Citizens in different nations differ as to the importance they attach to various policy outcomes. In some societies private property is highly valued, in others communal possessions are the rule. Some goods are valued by nearly everyone, such as material welfare, but societies differ nevertheless: some emphasize equality and minimum standards for all, while others emphasize the opportunity to move up the economic ladder. Some cultures put more weight on welfare and security, others value liberty and procedural justice. Moreover, the combination of learned values, strategies, and social conditions will lead to quite different perceptions about how to achieve desired social outcomes. One study showed that 73 percent of the Italian Parliament strongly agreed that a government wanting to help the poor would have to take from the rich in order to do it. Only 12 percent of the British Parliament took the same strong position, and half disagreed with the idea that redistribution was laden with conflict. Similarly, citizens and leaders in preindustrial nations disagree about the mixture of government regulation and direct government investment in the economy necessary for economic growth.

Political cultures may be consensual or conflictual on issues of public policy and on their views of legitimate governmental and political arrangements. In a consensual political culture citizens tend to agree on the appropriate means of making decisions and tend to share views of what the major problems of the society are and how to solve these. In more conflictual cultures the citizens are sharply divided, often on both the legitimacy of the regime and solutions to major problems. In several recent studies of citizens' attitudes in industrial societies, respondents in different countries were asked to locate their political positions on a ten-point scale ranging from extreme left to extreme right.

Figure 1
Patterns of Left-Right Distributions of Opinion in Five Countries: Citizens'
Self-Placement in the Mid-1970s



The differences and patterns can be seen in Figure 1. In the top part of the figure we see the United States, Britain, and Germany. In each of these countries the distribution is that of a normal curve. Most of the respondents are concentrated in the center and very few place themselves at the extreme right or extreme left. The United States has the most consensual of these distributions, with nearly half the respondents locating themselves at the center. At the bottom of the figure we see the distributions for France and Italy. although the center is still the most common position, their political cultures are more conflictual than those of the three countries above. Fewer citizens locate themselves at the center—only about one-third in France do so. And, as we might expect from the substantial strength of Communist parties in France and Italy, many citizens place themselves at the extreme left. These more conflictual distributions in the political culture both encourage and reflect the more intense political debates in these countries, and have been associated with dispute over the legitimacy of the regime as well as disagreements on political issues.

When a country like Italy or France is deeply divided in political attitudes and values we speak of the distinctive groups as political subcultures, which may share common national sentiments and loyalties, but disagree on basic issues, ideologies, and the like. The term political subculture may also be applied to groups less opposed to one another, as in Austria and the Netherlands. In the latter countries, such groups as Catholics, Protestants, liberals, and socialists have distinctive points of view on political matters, affiliate themselves with different political parties and interest groups, have separate newspapers, and even separate social clubs and sport groups. Nonetheless, relationships between these groups have been relatively amicable in recent years, unlike the intense and violent conflict between political subcultures in Northern Ireland.

From Gabriel A. Almond and G. Bingham Powell, Jr., *Comparative Politics Today: A World View*. © 1984 by Gabriel A. Almond and G. Bingham Powell, Jr.

Sample Items for Passage 1

1. The passage argues that the politics of a nation are determined by:
 - A. the amount and kind of economic activity engaged in by a society.
 - B. a consensus of national sentiments and loyalties.
 - C. the degree to which the interests of a nation conflict with those of other nations.
 - D. the opinions of citizens about what policies are best for their society.

2. The passage suggests that political subcultures exist in societies in which:
 - I. there is a high degree of political consensus.
 - II. citizens disagree violently on basic political issues.

III. disagreement between political parties is generally amicable.

- A. I only
- B. II only
- C. III only
- D. I and III only
- E. II and III only

3. According to Figure 1, which nation reports the greatest number of citizens who consider their political orientation to be on the extreme right?

- A. France
- B. Italy
- C. United Kingdom
- D. United States

4. A nation in which two political parties publish newspapers which criticize each other's ideas for instituting reform in welfare programs can most likely be considered a:

- A. conflictual culture with harshly opposed political subcultures.
- B. conflictual culture with amicable political subcultures.
- C. consensual culture with amicable political subcultures.
- D. conflictual culture with limited freedom of the press.

Answers:

1. D. 2. E. 3. C. 4. B.

3. ライティングスキル

In the end, everyone gives up jogging. Some find that their strenuous efforts to earn a living **drains (1)** away their energy.

1. A. NO CHANGE
B. drain
C. has drained
D. is draining

Others **suffering from (2)** defeat by the hazards of the course, from hard pavement to muddy tracks, and from smog to sleet and snow.

2. A. NO CHANGE
B. suffered
C. suffer
D. suffering with

These can also (3) collapse in their sneakers.

3. A. NO CHANGE
B. Still others
C. They can also
D. They also can

My experience **having been different (4)**, however; I had a revelation.

4. A. NO CHANGE
B. being different,
C. was a difference,
D. was different,

It happened two summers ago at Lake Tom. I had been accustomed to running every day, but that week I decided to be lazy. I sailed, basked in the sun, and ate wonderfully: **the best meals I've ever eaten (5)**.

5. Which of the following would most specifically illustrate the point that the writer ate wonderfully?
A. NO CHANGE
B. nutritious and healthful meals.
C. lobster, steak, and baked potatoes.
D. breakfast, lunch and dinner.

By the fourth day I had to face the truth: my body was slowly changing to **becoming (6)** dough.

6. A. NO CHANGE
B. become
C. being
D. OMIT the underlined portion.

So I tied on my running shoes and loped out to the main road in search of a five-mile route. **Out of curiosity, I turned onto Lookout Hill Road (7)** and soon discovered how the road had come by its name.

7. A. NO CHANGE
B. Out of curiosity, Lookout Hill Road was turned onto
C. Having become curious, Lookout Hill Road was the route I turned onto
D. Curious, a turning into Lookout Hill Road

was what I did,

I was chugging up one of the **longest, steepest (8)** inclines in the region. Perched at the top was a ramshackle house, and only a desire to get a closer look kept me going.

8. A. NO CHANGE
B. longest, steepest,
C. longest steepest,
D. longest and steepest,

I was exhausted when I reached the crest of the hill. There I found a native New Englander rocking on the front porch of the **house, which was painted (9)**. "Mister," I panted, "you sure live on a big hill!"

9. A. NO CHANGE
B. house (painted).
C. house, and it was painted.
D. house.

He studied me closely for a moment and then responded, "Yep, and I've got the good sense not to run up it." **That night I tied the laces of my running shoes around a rock and dropped them in Lake Tom (10)**.

10. Which of the following sentences would provide the conclusion that best supports the point made in the first paragraph that the writer gave up jogging because of a revelation?
- A. NO CHANGE
B. I realized that the New Englander was, indeed, correct, and walked back down the hill.
C. After that, I sat down on the porch and we talked for more than an hour.
D. Jogging may be good for you, but it's also tiring—especially if you jog up hills!

Answers:

1. B. 2. C. 3. B. 4. D. 5. C.
6. D. 7. A. 8. A. 9. D. 10. A.

4. ライティングエッセイ

Independent Prompt Example

Your college administration is considering whether or not there should be a physical education requirement for undergraduates. The administration has asked students for their views on the issue and has announced that its final decision will be based on how such a requirement would affect the overall educational mission of the college. Write a letter to the administration arguing whether or not there should be a physical education requirement for undergraduates at your college.

(Do not concern yourself with letter formatting; simply begin your letter, "Dear Administration.")

In an actual testing situation, your response will be evaluated by how well you formulate an assertion and support it with a coherent and logical argument.

5. 数学

Pre-Algebra (Basic Skills)

1. How much greater is the product of -3 , -7 , and 5 than their sum?

- A. -110
- B. -100
- C. 90
- D. 100
- E. 110

Pre-Algebra (Application)

2. Mark bought 3 shirts at a clothing store. If he paid a total of \$15.00 for 2 shirts and the average (arithmetic mean) cost of the 3 shirts was \$8.00, how much did Mark pay for the third shirt?

- A. \$7.00
- B. \$7.67
- C. \$8.50
- D. \$9.00
- E. \$11.50

Coordinate Geometry (Basic Skills)

3. A straight line in the coordinate plane passes through the points with (x,y) coordinates $(-1,1)$ and $(2,3)$. What are the (x,y) coordinates of the point at which the line passes through the y -axis?

- A. $(0, \frac{2}{3})$
- B. $(0, \frac{5}{3})$
- C. $(0,2)$
- D. $(0, \frac{5}{2})$
- E. $(-2,0)$

Intermediate Algebra (Application)

Items 4–5 are based on the following information.

Astonville currently has a property tax of 2% of the market value of each house. Senator Smith has proposed a change in the property tax. Under this Smith proposal, there would be no tax on a house unless the market value of the house was above \$20,000. The tax on a house whose market value was over \$20,000 would be 2.5% of the difference between the house's market value and \$20,000.

4. Sue Miller would pay the same tax on her house under the Smith proposal as under the current plan.

What is the market value of her house?

A. \$ 10,000

B. \$ 40,000

C. \$100,000

D. \$120,000

E. \$400,000

5. What percentage of Senator Smith's constituents would save money under this new tax proposal?

A. 25%

B. $33\frac{1}{3}\%$

C. 50%

D. $66\frac{2}{3}\%$

E. The answer cannot be determined from the given information.

College Algebra (Basic Skills)

6. If $-4x^2 + 4x + 3 > 0$, then which of the following inequalities must be true?

A. $x > 0$

B. $x < 0$

C. $x < -\frac{1}{2}$ or $x > \frac{3}{2}$

D. $-\frac{1}{2} < x < \frac{3}{2}$

E. $-\frac{2}{3} < x < \frac{1}{2}$

Trigonometry (Basic Skills)

7. Which of the following is equivalent to $\frac{\sin x \tan^2 x + \sin x}{\tan x}$ for $0 < x < 90^\circ$?

A. $\sin x + \cos x$

B. $2 \sin x \tan x$

C. $\sec x$

D. $\cos x$

E. $\frac{\sin^2 x}{\cos^3 x}$

Answers:

1. E. 2. D. 3. B. 4. C. 5. E. 6. D. 7. C.

6. 科学

Sample Passage 1: Biology, Data Representation Format

A scientist investigated the factors that affect seed mass in the plant species *Desnodium poniculatum*. Some results of this study are summarized in the two tables below.

Table 1

Daylight hours	Other variable	Average seed mass (in mg) of plants raised at:	
		23°C	29°C
14	—	7.10	5.63
14	Leaves removed	7.15	6.11
14	Reduced water	4.81	5.81
8	—	6.12	—

Table 2

A. Number of seeds per fruit	Average seed mass (mg)
1	6.62
2	6.28
3	5.97
4	6.00
5	5.59
B. Position of seed in fruit*	Average seed mass (mg)
1 (closest to stem)	5.98
2	6.06
3	5.96
4	5.82
5 (farthest from stem)	5.27

*Seeds closest to the stem mature first and are released first.

Sample Items for Passage 1

1. The data suggest that subjecting plants to which of the following conditions would result in the greatest seed masses?
 - A. 8 hours of light, adequate water supply, and 23°C
 - B. 8 hours of light, decreased water supply, and 23°C
 - C. 14 hours of light, adequate water supply, and 23°C
 - D. 14 hours of light, decreased water supply, and 29°C
2. Which of the following conclusions is NOT consistent with the data presented in table 2?
 - A. The last seed released from the plant will have a greater mass than the first seed released.
 - B. The first seed released from the plant will have a greater mass than the last seed released.
 - C. The last seed released from the plant's fruit is the farthest from the stem.
 - D. Seeds of the smallest mass are located farthest from the plant's stem.
3. Suppose some of the plants in the study had been exposed to 8 hours of sunlight and a temperature of 29°C. If no other variables were introduced, which of the following would be the most reasonable prediction of the average mass of the seed(s) produced under those circumstances?
 - A. 8.30 mg
 - B. 7.10 mg
 - C. 6.50 mg
 - D. 4.85 mg

Sample Passage 2: Physics, Conflicting Viewpoints Format

Aristotle developed a system of physics based on what he thought occurred in nature. For example, he thought that if a stone is released from rest, it instantaneously reaches a speed that remains constant as the stone falls. He also believed that the speed attained by a stone falling in air varies directly with the weight of the stone. A 5-pound stone, for example, falls with a constant speed 5 times as great as that of a 1-pound stone. Aristotle also noted that stones dropped into water continue to fall, but at a slower rate than stones falling through air. To account for this, he explained that the resistance of the medium through which an object falls also affects the speed. Therefore, he said, the speed of a falling object also varies inversely with the resistance of the medium, and this resistance is the same for all objects.

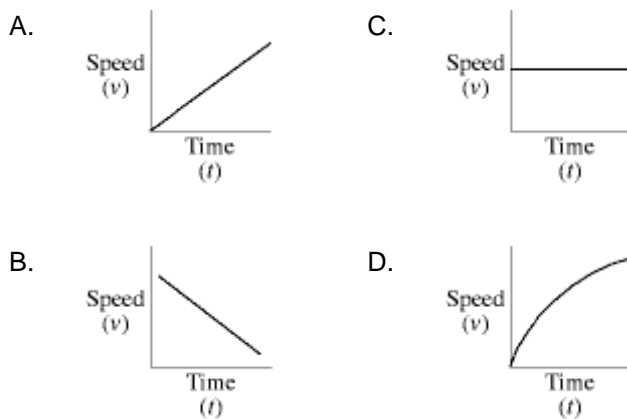
Galileo disagreed with Aristotle's explanation. He generated the following arguments to refute Aristotle.

Consider a stake partially driven into the ground and a heavy stone falling from various heights onto the stake. If the stone falls from a height of 4 cubits, the stake will be driven into the ground, say, 4 fingerbreadths. But if the stone falls from a height of 1 cubit, the stake will be driven in a much smaller amount. Certainly, Galileo argued, if the stone is raised above the stake by only the thickness of a leaf, then the effect of the stone's falling on the stake will be altogether unnoticeable.

On the basis of a careful set of experiments, Galileo argued that the speed of an object released from rest varies directly with the time of fall. Also, the distance the object falls varies directly with the square of the time of fall if the effect of air resistance on the object is negligible. Thus, according to Galileo, objects actually fall with constant acceleration, and if air resistance is negligible, all objects have exactly the same acceleration.

Sample Items for Passage 2

1. Which graph accurately represents Galileo's theory of the relationship between speed and time for an object falling from rest under conditions of negligible air resistance?



2. A book dropped from a height of 1 meter falls to the floor in t seconds. To be consistent with Aristotle's views, from what height, in meters, should a book 3 times as heavy be dropped so that it will fall to the floor in the same amount of time?

A. $\frac{1}{9}$

B. $\frac{1}{3}$

C. 1

D. 3

3. Suppose a heavy object falls to the ground in t seconds when dropped from shoulder height. According to Galileo, if air resistance were negligible, how many seconds would it take an object half as heavy to fall to the ground from the same height?
- A. $0.5t$
- B. $1.0t$
- C. $1.5t$
- D. $2.0t$
4. A piece of putty weighing 2 pounds is dropped down a shaft from the top of a tall building; 1 second later, a 3 pound piece of putty is dropped down the shaft. According to Aristotle, what happens to the 2 pieces of putty if they fall for a relatively long time?
- A. The separation between the 2 pieces constantly increases until they strike the ground.
- B. The separation between the 2 pieces is constant until they strike the ground.
- C. The heavier piece catches up to the smaller piece, and the 2 pieces travel together with the speed of the heavier piece.
- D. The heavier piece catches up to the smaller piece, and the 2 pieces travel together with a speed faster than the speed of either.

Sample Passage 3: Chemistry, Research Summaries Format

A mass spectrometer is used to measure the masses of molecular and atomic ions. The spectrometer operation is based on the fact that the motion of charged particles is affected by magnetic fields. A diagram of a mass spectrometer is shown in Figure 1.

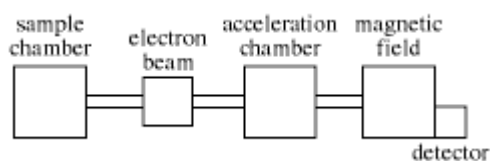
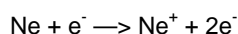
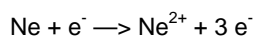


Figure 1

Atoms or molecules are passed through an electron beam that forms positive ions. The positive ions are formed because the electrons (e^-) in the beam dislodge electrons from the sample particles. For example, neon (Ne) atoms may lose electrons, as shown in the following reaction:



Occasionally, a particle will lose more than 1 electron, as shown in the following reaction:



Additionally, the energy of the electron beam will often fragment molecules into smaller molecules or atoms that are also ionized. For example, when electrons interact with molecules of chlorine (Cl_2), both Cl_2^+ and Cl^+ may be formed.

The acceleration chamber increases the velocity of the ions. Ions with the same charge leave the acceleration chamber with the same kinetic energy.

However, lighter ions will have larger velocities than heavier ions. As ions enter the magnetic field, the field induces a circular path for the ions, the radius of which is called the *radius of curvature*. The radius of curvature is proportional to the mass and the velocity of the ions and is inversely proportional to the strength of the magnetic field and the charge on the ions (1+, 2+, etc.).

The ions then strike a detector. The mass-to-charge ratio (m/z) of the ions is then determined from the position of the detector. The lower the position of the detector in the diagram, the lower the m/z ratio. Additionally, the detector measures the number of ions with similar mass-to-charge ratios.

Tables 1 and 2 summarize the results obtained when pure samples of Ne and C_{12} are analyzed.

Table 1

Sample	m/z ratio of the ions detected	% of total ions detected
Ne	10	very small
	20	90.5
	21	0.3
	22	9.2

Table 2

Sample	m/z ratio of the ions detected	% of total ions detected
C_{12}	35	30.0
	36	very small
	37	10.0
	70	33.8
	72	22.5
	74	3.8

From the information in table 1, it was concluded that 3 types (isotopes) of Ne exist: Neon-20 (^{20}Ne), Neon-21 (^{21}Ne), and Neon-22 (^{22}Ne).

Sample Items for Passage 3

1. The detector on the mass spectrometer shown in Figure 1 would NOT measure the m/z ratios of substances that:
 - A. are positively charged.
 - B. are ions.
 - C. have more than 1 isotope.
 - D. have no charges.
2. Based on the data in table 1, a scientist stated that an atom of ^{20}Ne has an atomic mass of 20. In order to make this statement, the scientist assumed that:
 - A. the m/z ratio of 20 results from a doubly charged ^{40}Ne atom.
 - B. electron mass is negligible compared to atomic mass.
 - C. the m/z ratio of 20 results from 2 atoms of Ne colliding to form a molecule.
 - D. the detector adds electrons to the ions before it counts the charges.
3. If 2 Cl^{2+} ions are formed from a Cl_2 molecule, how many electrons are lost from the original Cl_2 molecule?
 - A. 0
 - B. 1
 - C. 3
 - D. 4
4. If the kinetic energy and the velocity of a Cl^+ ion were compared to that of a Cl_2^+ ion, the Cl^+ ion would have:
 - A. a greater kinetic energy and a greater velocity.
 - B. a greater kinetic energy but the same velocity.
 - C. the same kinetic energy but a larger velocity.
 - D. the same kinetic energy and the same velocity.

Answers:

Sample Items for Passage 1: 1. C. 2. A. 3. D.

Sample Items for Passage 2: 1. A. 2. D. 3. B. 4. D.

Sample Items for Passage 3: 1. D. 2. B. 3. D. 4. C.

6. 批判的思考力

Sample Passage 1

Senator Favor proposed a bill in the state legislature that would allow pharmacists to prescribe medications for minor illnesses, without authorization from a physician (i.e., a "prescription"). In support of her proposal, Favor argued:

Doctors have had a monopoly on authorizing the use of prescription medicines for too long. This has caused consumers of this state to incur unnecessary expense for their minor ailments. Often, physicians will require patients with minor complaints to go through an expensive office visit before the physician will authorize the purchase of the most effective medicines available to the sick.

Consumers are tired of paying for these unnecessary visits. At a recent political rally in Johnson County, I spoke to a number of my constituents and a majority of them confirmed my belief that this burdensome, expensive, and unnecessary practice is widespread in our state. One man with whom I spoke said that his doctor required him to spend \$80 on an office visit for an uncommon skin problem which he discovered could be cured with a \$2 tube of prescription cortisone lotion.

Anyone who has had to wait in a crowded doctor's office recently will be all too familiar with the "routine": after an hour in the lobby and a half-hour in the examining room, a physician rushes in, takes a quick look at you, glances at your chart and writes out a prescription. To keep up with the dizzying pace of "health care," physicians rely more and more upon prescriptions, and less and less upon careful examination, inquiry, and bedside manner.

Physicians make too much money for the services they render. If "fast food" health care is all we are offered, we might as well get it at a good price. This bill, if passed into law, would greatly decrease unnecessary medical expenses and provide relief to the sick: people who need all the help they can get in these trying economic times. I urge you to vote for this bill.

After Senator Favor's speech, Senator Counter stood to present an opposing position, stating:

Senator Favor does a great injustice to the physicians of this state in generalizing from her own health care experiences. If physicians' offices are crowded, they are crowded for reasons that are different from those suggested by Senator Favor. With high operating costs, difficulties in collecting medical bills, and exponential increases in the costs of malpractice insurance, physicians are lucky to keep their heads above water. In order to do so, they must make their practices more efficient, relying upon nurses and laboratories to do some of the patient screening.

No one disputes the fact that medical expenses are soaring. But, there are issues at stake which are more important than money—we must consider the quality of health care. Pharmacists are not trained to diagnose illnesses. Incorrect diagnoses by pharmacists could lead to extended illness or even death for an innocent customer. If we permit such diagnoses, we will be personally responsible for those illnesses and deaths.

Furthermore, since pharmacies make most of their money by selling prescription drugs, it would be unwise to allow pharmacists to prescribe. A sick person who has not seen a physician might go into a drugstore for aspirin and come out with narcotics!

Finally, with the skyrocketing cost of insurance, it would not be profitable for pharmacists to open themselves up to malpractice suits for mis-prescribing drugs. It is difficult enough for physicians with established practices to make it; few pharmacists would be willing to take on this financial risk. I recommend that you vote against this bill.

Sample Items for Passage 1

1. Favor's "unofficial poll" of her constituents at the Johnson County political rally would be more persuasive as evidence for her contentions if the group of people to whom she spoke had:

- I. been randomly selected.
 - II. represented a broad spectrum of the population: young and old, white and non-white, male and female, etc.
 - III. not included an unusually large number of pharmacists.
- A. I only
 - B. II only
 - C. III only
 - D. I, II, and III

2. In her example of the man who paid \$80 for an office visit to treat an uncommon skin problem, Favor seems to assume, but probably should not, that:

- A. the man would have discovered this cure without the doctor's diagnosis.
- B. two dollars is the average price of the cortisone lotion.
- C. eighty dollars is the average price for an office visit of this kind.
- D. cortisone lotion is effective on all rashes.

3. Counter's concern that a sick person who has not seen a physician might go into a drugstore for aspirin and come out with narcotics is probably unfounded because:

- A. sick persons often send others to get their drugs.
- B. narcotics are not normally prescribed for "minor ailments."

C. most people do not buy aspirin at the drugstore.

D. most people who need narcotics go to a physician to get them.

4. It is obvious from Favor's speech that she believes which of the following?

A. Most prescriptions are unnecessary.

B. Senator Counter will oppose the bill.

C. If the bill is passed into law, it will greatly reduce the cost of all medical treatment.

D. If the bill is passed, the average costs for treatment of minor ailments would be reduced significantly.

5. It is clear from Senator Counter's speech that he believes:

A. physicians are not having difficult economic times.

B. Favor's description of the crowded physician's office is not completely inaccurate.

C. the cost of malpractice insurance is not growing at an accelerated pace.

D. the quality of health care will not diminish if pharmacists are allowed to prescribe drugs.

Sample Passage 2

A: The domestic spending policies of the current administration are simply reprehensible. The real enemy of our democracy is not big government, but big business. As our society becomes increasingly dominated by enormous corporate conglomerates, there is less and less room for real individual initiative. Our lives are becoming completely determined by what happens in the board room as the rich get richer and the poor get poorer.

B: How can you say that? You have it just backwards. Excessive government regulation and high taxes lead to complete totalitarianism. Only when there is less government intervention in our lives and lower taxes allow us to employ our assets to our own best advantage does talk of individual initiative make any sense at all.

A: You elitists are all alike. You think only of the freedom of opportunity for the privileged few. You have no concern for those members of society who may not have the resources to be entrepreneurs or investors. Democracy means "liberty and justice for all," not just for those of you with a lot of money.

B: Justice? What justice is there in taking away my hard-earned dollars to pay for welfare programs for people who don't want work? And besides, liberty is simply a question of the existence of possibilities. Everyone can succeed in our society, if they only use their talents and assets wisely. You can lead a horse to water, but you can't make it drink.

A: You're confusing liberty with license. Having the right to do something doesn't mean that there's any real opportunity for you to actually do it. The least-advantaged of our society do not have the ability to exploit the system successfully. Freedom is a matter of choice between real alternatives, alternatives the poor do not have.

B: People don't choose their parents. It wouldn't be my fault if mine were a little better off than most. It's a fool's dream to think that you can get rid of the inequalities of birth. But the glory of democracy is that everybody has an equal say in where we go from here, given those natural inequalities. Besides, the only purpose of government is to protect the property rights of its citizens.

A: But the authority of the government is the authority given to it by the people. And there is no apparent reason for the poor to recognize your so-called "right of property" when they do not have any property. How could you convince them that it is for their own good to recognize this right?

B: Of course it's for their own good. Without the government—human nature being what it is—there would be constant strife and violence. One of the reasons for having a government is to ensure "domestic tranquility," right? Since life would be so uncertain in a state of anarchy, everybody has an interest in recognizing the authority of the government. Besides, as long as the poor can have property, the principle is completely fair—if they had property, the government would protect it.

A: And if wishes were horses, then beggars would ride. Look, it's only fair that the better-off members of a democratic society provide for the support of the least-advantaged. A democracy consists in the free will of its citizens to self-government—you know: "We, the people, in order to form a more perfect union. . . ." The economic structure of a democratic society must be such as to command everyone's consent from a standpoint of self-interest and complete equality. From such a standpoint, I cannot base my decision on the basis of the position I currently occupy within society or the amount of property I now have, so I must choose to make the best of what may be a bad situation—I must choose from the standpoint of the least-advantaged. So only if the fundamental institutions of a democracy provide real opportunities for the least-advantaged is there any justification for individuals to give their allegiance to the government and recognize the right of property.

B: But that's just what I mean. If we only encouraged investment, a free and growing economy would provide for more opportunity for the least-advantaged. The profits might be reaped in the first instance

by the investors, but they would eventually trickle down through the economy to raise the standard of living of every member of the society.

A: You're incorrigible. I don't know why I put up with you.

B: Think what you want; after all, it's a free country.

Sample Items for Passage 2

1. What is A's complaint about the current administration's policies?
 - A.They allow businesses to own property.
 - B.They don't permit the poor to own property.
 - C.They favor business interests at the expense of social programs.
 - D.They restrict the freedom of all citizens.
2. A's argument in favor of social welfare programs relies on which of the following assumptions?
 - A.It is unreasonable to think that everyone desires property.
 - B.It is unreasonable to submit to any authority besides yourself.
 - C.It is reasonable to expect society to give everyone an equal opportunity.
 - D.It is unreasonable to expect someone to submit to an authority if it is not to his own advantage.
3. Which of the following justifications of the necessity of our government's intervention in the affairs of some other country would be consistent with B's position?
 - A.To ensure the freedom of that country's citizens
 - B.To protect the property rights of that country's citizens
 - C.To foster the individual initiative of our country's citizens
 - D.To protect the property rights of our country's citizens
4. If disputes about property are not the only source of strife and violence, then B argues inconsistently with respect to the:
 - A.nature of freedom.

B.nature of equality.

C.purpose of government.

D.rights of a citizen in a democracy.

5. A and B clearly disagree on which of the following?

A.What form of government our society should have

B.Whether individual initiative is desirable

C.What constitutes freedom and equality in a democratic society

D.Whether the government should protect the right of property

Answers:

Sample Items for Passage 1: 1. D. 2. A. 3. B. 4. D. 5. B.

Sample Items for Passage 2: 1. C. 2. D. 3. D. 4. C. 5. C.

【参考文献】

- ACT: Resources for Education and Workplace Success (2008a), <<http://www.act.org/>> [2008, Dec 25]
- ACT: Resources for Education and Workplace Success (2007b), CAAP Student User Guide <<http://www.act.org/caap/pdf/userguide.pdf>> [2008, Dec 25]
- The South Dakota School of Mines and Technology (2002), Administration of the ACT/CAAP & Test Information <http://www.hpcnet.org/cgi-bin/global/a_bus_card.cgi?SiteID=345483> [2008, Dec 25]
- Mississippi University for Women Core Curriculum Committee (2008), Collegiate Assessment of Academic Proficiency Test<<http://www.muw.edu/cccaap.html>> [2008, Dec 25]
- Weber State university (2008), CAAP Admission to Teacher Education <<http://www.weber.edu/TestingCenter/CAAP.html>> [2008, Dec 25]

【付表】

付表1 標準テスト開発機関(ACER、CAE、ETS、ACT)の概要

		オーストラリア	アメリカ		
1) 機関名称		ACER (The Australian Council for Educational Research)	CAE (Council for Aid to Education)	ETS (Educational Testing Service)	ACT (ACT)
2) 所在地		19 Prospect Hill Rd, Camberwell, VIC, Australia 3124	215 Lexington Avenue, 21st Floor, New York NY 10016-6023 USA	Rosedale Road, Princeton, New Jersey 08541 USA	500 ACT Drive, P.O. Box 168, Iowa City, Iowa 52243-0168 USA
3) 歴史		1930年設立	1952年設立	1947年設立	1959年設立(前身のThe American College Testing Program)
4) 概要	組織形態	政府から独立した非営利団体	非営利団体	非営利団体	政府から独立した非営利団体
	組織規模	本部(キャンバーウェル) ブランチ(シドニー、パース、ブリスベンなど) 事務所(トバイ、インド)	ニューヨークに事務所	本社(プリンストン)のほか、国内事務所(全米に8地域、海外事務所(カナダに1カ所、ヨーロッパ・オセアニアに7カ所、南米に1カ所、アジア太平洋地域に18カ所)	本社(アイオワシティ)のほか、国内事務所(全米に12地域)、海外事務所(5カ所)
	スタッフ数	250人	16名()	2,500名	1,500名
	ミッション	学びの質を向上させるために使える知識とツールを生み出し、向上させること	高等教育への協同支援と高等教育政策の改善	公平かつ有効な、アセスメント・研究・そして関連するサービスを提供し、世界の教育の質と平等を促進する	教育および職場での成功達成を支援する
5) 活動内容	研究・開発領域	①アセスメントとアセスメント報告 ②学習過程 ③国内・国際レベルでの学力調査 ④政策分析・プログラム評価 ⑤政策分析・プログラム評価 ⑥システムワイドテスト ⑦教育と社会生活・経済生活に関する移行	高等教育の質・評価の改善	「授業と学習効果のアセスメント」、「教員の質」、「スクールリーダーシップ」、「達成度格差」等の研究活動やアセスメント開発	教育到達度を測定するためのテストやプログラム 提供するテストやプログラムの使用や影響に関する研究 個別企業・公的組織・団体などの要求に応じた、採用・トレーニング・昇進・リテンション向上、に関する包括的なアセスメントテストやプログラム
	提供するテストに関連するサービス・テスト	1. スカラシッププログラム(優等学生測定) 2. 学校(初・中等)教育関連 3. オンライン 4. 大学関連 (…、GSA、…) 5. 職業教育・トレーニング関連 6. 人的資源関連 7. 心理テスト関連	1. 高等教育寄付支援調査 2. コミュニティカレッジ学習アセスメント 3. 大学・仕事準備アセスメント	高等教育に関するテストサービスは、MAPP test (Measure of Academic Proficiency and Progress)、MFT (Measure Field Tests)、SIR II (Student Instructional Report)、iSkills Assessment、Criterion Online Writing Evaluation、	テストに伴い、多種のライセンスやサーティフィケートを提供

		8. テストスコアリング関連 9. コンサルティング		MFT for MBA、GRE (Graduate Record Examinations)など	
6) その他の特色	テスト開発から実施、管理、分析、フィードバックまですべてのサービスを一貫して提供している。	GM や Exxon Corporation、United States Steel Corporationといったアメリカの経済界の主要リーダーにより、高等教育への協同支援と高等教育政策の改善を目的に設立。	—	全国レベルの大学アドミッションテストである SAT を開発	全国レベルの大学アドミッションテストである ACT を開発
7) 財政規模 ・公的資金の投入状況など	政府（中央、地方）はテストや評価の開発、サービス提供等を ACER に委託することがある。	カーネギー・コーポレーションなど多数の財団から支援を受けている。	—	—	—

付表2 標準テスト(GSA、CLA、MAPP、CAAP)の概要

	オーストラリア	アメリカ		
テスト名	GSA (Graduate Skills Assessment)	CLA (The Collegiate Learning Assessment)	MAPP (Measure of Academic Proficiency and Progress)	CAAP (Collegiate Assessment of Academic Proficiency)
開始年	2000年開始	2000年開始	2006年(1987年開始の Academic Profile が前身)	1988年
開発機関	ACER	CAE	ETS	ACT
アセスメントの目的	ACERによれば、主として以下の5つの情報と、その情報に基づく活用が考えられるという。 1. 大学入学者のジェネリックスキルレベル 2. 一般化された評価基準に基づくデータ 3. グループ単位での付加価値測定 4. 個人単位のジェネリックスキルの向上 5. 個人のジェネリックスキルに関する証明とコースプログラムの改革・向上	文章力(written communication)、批判的思考力(critical thinking)、問題解決力(problem solving)、分析的論理付け能力(Alytic reasoning)といった能力が、各高等教育機関の教育力によりどれほど変容したか(付加価値)を比較測定することを目的としたアセスメントとなっている。	一般教育レベルの知識やスキル、の査定、評価、向上、プログラムの改革等を目的にしている。	大学生の一般教育(general education)終了時における到達度・理解度を測定するための試験である。一般教育レベルの知識やスキルの査定、評価、向上を目的にしている。
実施レベル	大学	大学	大学	大学
受検対象	大学生(入学生、卒業生など)	大学生(1年生と4年生)	大学生(大学1~4年の全ての学年に対応)	通常大学2年生
測定能力	文章力	文章力	文章力	文章力
	批判的思考力	批判的思考力	批判的思考力	批判的思考力
	問題解決力	問題解決力		
	相互理解力			
		分析的論理づけ能力		
			読解力	読解力
			数学的能力	数学的能力
			科学的能力	
測定結果の用途	想定されていた用途としては、就職活動時の能力証明	路選択のための情報・就職・大学評価	performance funding や認証評価の判断材料としても利用される。	一般教育プログラムの向上 学生の付加価値評価教育システムの改善教育の質証明
卒業要件との関連	受検は任意であり、卒業要件との関連はみられない	受検は任意であり、卒業要件との関連はみられない	テネシーにある大学など、いくつかの大学で卒業要件としている例がみられる。	ミシシッピ女子大学や一部コミュニティカレッジなどCAAP受検が必須な機関も存在
テストの形態	ペーパー	オンライン	オンラインまたはペーパー	ペーパー

			標準と短縮の2つのオプションが用意されている	
解答形式	多枝選択式(批判的思考力、問題解決力、相互理解力) 記述式(文章力)	記述式	多枝選択式 オプションとしてエッセイ作成を加えることが可能	多枝選択式(読解、文章表現力、数学的能力、科学的能力、批判的思考力) 記述式(エッセイ作成)
受検時間	2時間(多枝選択式) 1時間(記述式)	作業課題が90分、分析的課題の Make an Argument が45分、Critique an Argument が30分	標準形式の所要時間は約2時間	多枝選択式は各分野約50分、エッセイ作成は40分
実施時期	—	—	—	個別機関が独自に実施日を指定できる。
実施場所	各大学	各大学	各大学	各大学
受検料	1名につき、70豪ドル(大学ヒアリングによる情、2006年時点)	縦断的分析(評価方法・内容部分で後述)の場合、1年生コホート300名(3回受検)、4年生春サンプル100名で28,000ドル(1大学につき)横断的分析の場合、1年生秋サンプル100名、4年生春サンプル100名で6,500ドル(1大学につき)。これを超えた分は1名25ドル。	標準形式(簡略形式ではない)、ペーパーで行う場合、500サンプルまでは1名につき394.75ドル。オンラインで行う場合は1名につき15.80ドル。エッセイのオプションは1名につき5ドル。	1分野のみ実施の場合、500サンプルまでは1名につき13.50ドル。2~5分野実施の場合、同1名につき20.50ドル。エッセイは13.50ドルなど、結果レポートに関するオプション多数あり。
採用規模	2007年度数機関程度	延べ300機関70,000人が受検(2007年度210大学)	延べ380機関が受検(2007年度23機関6,000人)	延べ550機関が受検
備考	オーストラリア政府から委託され、ACERが開発	2008年3月より、CLA the classroom開始		各機関の目的やミッションに応じて、利用する分野のテストを選択することができる。オプションとして共通問題以外に、最大9問まで各機関特有の問題をテストに挿入可能となっている。

(鈴木尚子)